


令和4(2022)年度版

い バ ラ き の環境

(資料編)

(令和3(2021)年度実績報告書)



資料編目次

【いごちの良き生活環境をたもつ】	
1 健康に過ごすことができる生活環境の保全	
(1) 大気・水環境等の保全	
● 施設等の届出状況等	1
(2) 良好な地域環境の確保	
● 公害苦情受付と処理状況（前年度未解決分を含む）	2
(3) 地域環境の監視	
1 大気環境の保全	
● 大気汚染に係る環境基準	3
● 大気測定局別測定項目一覧	4
● 大気測定局監視地点図	4
● 測定局別環境基準達成状況	5
● 大気測定局による年間測定結果	6
● 光化学スモッグ発令状況	8
2 水環境の保全	
ア 公共用水域	
● 生活環境の保全に係る環境基準	8
● 人の健康の保護に係る環境基準	9
● 公共用水域の環境基準点、準基準点及び補助地点	10
● 公共用水域（環境基準点、準基準点）の河川水質測定結果	11
● 公共用水域（環境基準点、準基準点以外の地点）の河川水質測定結果	14
イ 地下水	
● 地下水質に係る環境基準	19
● 地下水質継続監視調査結果	19
● 地下水質概況調査（ローリング方式）結果	20
ウ 水生生物による水質調査	
● 水生生物による水質簡易調査法による水質階級	21
● 日本版平均スコア法による水質階級	21
● 地点ごとの水質簡易調査法及び日本版平均スコア法による結果一覧	21
● 日本版平均スコア法による各生物の出現回数	22
● 各地点の結果及び過去5年間の調査結果	23
● 調査地点一覧	24
3 土壌汚染の対策	
● 土壌汚染に係る環境基準	25
4 騒音・振動の防止	
● 騒音に係る基準等	27
● 「一般環境」の騒音測定結果	28
● 「一般環境」の用途地域別環境基準達成率及び平均騒音レベル	29
● 「道路に面する地域」の騒音測定結果	30
● 「道路に面する地域」の環境基準達成状況	31
5 ダイオキシン類の対策	
● ダイオキシン類に係る環境基準	31
● 大阪府による測定結果	32
● 市内事業場による測定結果	32
2 新たな環境課題への対応	
(1) 化学物質による環境リスクへの対応	
● P R T R法等関連事務	33
● 大規模災害に備えた環境リスクの低減対策の取組み促進	33
● 主な化学物質一覧	33
(2) 遺伝子組換え実験等による環境リスクへの対応	
● ライフサイエンス環境保全対策事務事業	33

3 快適環境の保全	
(1) 環境美化活動の推進	
● 不法屋外広告物対策	34
(2) 不法投棄の防止	
● 不法投棄防止・対応事業	34
【バランスのとれた自然環境をつくる】	
1 都市とみどりの共存	
(1) 身近なみどりの保全と活用	
● 都市公園等及び児童遊園の現況	35
● 都市公園等及び児童遊園の設置推移	35
2 自然資源の利用の推進	
(1) 里山センターの利用	
● 里山センターにおけるイベント実施一覧	36
3 生物多様性の保全	
(1) 茨木市に生息する特定外来生物と害獣	
● 特定外来生物と害獣の捕獲件数	36
(2) 茨木市に生息する希少な生きもの	
● 希少種一覧と選定基準（平成28年度）	36
【ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす】	
1 省エネルギーの実践及び普及啓発	
(1) 省エネライフスタイルの推進	
● エコオフィスプランいばらき推進事業	37
2 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進	
(1) 再生可能エネルギー等の推進	
● 茨木市の環境配慮施設	38
【きちんと分別で資源の循環をすすめる】	
1 減量化の推進	
(1) 家庭系ごみの減量化推進	
● 生ごみ処理容器等設置補助件数	40
2 再資源化の推進	
(1) 家庭系ごみの再資源化の推進	
● 再生資源集団回収報奨金支給団体数	40
3 適正処理の推進	
(1) 効率的なごみ処理の推進	
● 市内のごみ・資源物の発生量	40
● その他の資源物の発生量	41
● ごみの処理について	41
● し尿・浄化槽汚泥の収集について	42
● し尿・浄化槽汚泥の処理について	42
【環境意識・環境教育・環境行動】の実施状況	
(1) 環境教育・啓発事業	
● 茨木市環境教育ボランティア登録制度による環境学習実施状況	43

【いごちの良い生活環境をたもつ】

1 健康に過ごすことができる生活環境の保全

(1) 大気・水環境等の保全

● **施設等の届出状況等**

① **大気汚染防止法**

区分	新設による届出	使用による届出	構造等変更による届出	氏名等変更による届出	使用廃止による届出	承継による届出	特定粉じん排出作業の届出	合計
件数	9	0	0	2	7	0	7	25

② **ダイオキシン類対策特別措置法**

区分	新設による届出	使用による届出	構造等変更による届出	氏名等変更による届出	使用廃止による届出	承継による届出	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0

③ **水質汚濁防止法**

区分	新設による届出	使用による届出	構造等変更による届出	氏名等変更による届出	使用廃止による届出	承継による届出	測定手法の届出	合計
件数	8	0	9	2	17	0	0	36(0)

(注)()内は、瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく許可・届出件数

④ **騒音規制法**

区分	新設による届出	使用による届出	数の変更による届出	氏名等変更による届出	使用廃止による届出	承継による届出	特定建設作業による届出	合計
件数	5	0	0	8	0	1	406	420

⑤ **振動規制法**

区分	新設による届出	使用による届出	数の変更による届出	氏名等変更による届出	使用廃止による届出	承継による届出	特定建設作業による届出	合計
件数	5	0	1	3	0	0	199	208

⑥ **土壌汚染対策法**

法に基づく届出、報告、申請件数	53
法第3条第8項に基づく調査命令を発した件数	1
法第4条第3項に基づく調査命令を発した件数	0
法第6条第1項に基づき要措置区域に指定した件数	0
法第11条第1項に基づき形質変更時要届出区域に指定した件数	1

⑦ **大阪府生活環境の保全等に関する条例**

区分	新設による届出	使用による届出	構造等変更による届出	氏名等変更による届出	使用廃止による届出	承継による届出	石綿排出等作業の実施届出	特定建設作業による届出	合計	
件数	大気	1	0	1	4	1	0	5	—	12
	水質	0	0	0	0	0	0	—	—	0
	騒音	12	0	1	4	0	0	—	806	823
	振動	1	0	0	0	0	0	—	698	699
合計	14	0	2	8	1	0	5	1504	1534	

⑧ 大阪府生活環境の保全等に関する条例(土壌汚染対策)

条例に基づく届出、報告、申請件数	22
条例に基づく要措置管理区域に指定した件数	0
条例に基づく要届出管理区域に指定した件数	0

⑨ 茨木市生活環境の保全に関する条例

区分	新設による届出	使用による届出	構造等変更による届出	氏名等変更による届出	使用廃止による届出	承継による届出	合計
特定事業所届出件数	0	0	0	0	0	0	0

(2) 良好な地域環境の確保

● 公害苦情受付と処理状況(前年度未解決分を含む)

区分	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地盤沈下	土壌汚染	その他	合計
受付件数	11	7	19	1	6	0	0	0	44
解決件数	8	6	10	1	6	0	0	0	31
次年度へ継続	3	1	9	0	0	0	0	0	13

(3) 地域環境の監視

1 大気環境の保全

● 大気の汚染に係る環境基準

大気の汚染に係る環境基準は、環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づき、大気の汚染に係る「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として、主要な大気汚染物質である二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンについて、下記の表のとおり定められています（昭和48年5月8日環境庁告示第25号、昭和53年7月11日環境庁告示第38号、平成9年2月4日環境庁告示第4号、平成13年4月20日環境省告示第30号、平成21年9月9日環境省告示第33号、平成30年11月19日環境省告示第100号）。

大気汚染に係る環境基準

物質名	環境上の条件	環境基準の長期的評価方法
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	年間の日平均値の2%除外値 ¹⁾ が、0.04ppm以下であること。ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	日平均値の年間98%値 ²⁾ が、0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又は、それ以下であること。
一酸化炭素 (CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	年間の日平均値の2%除外値が、10ppm以下であること。ただし、1日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しないこと。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10 mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	年間の日平均値の2%除外値が、0.10mg/m ³ 以下であること。ただし、1日平均値が0.10mg/m ³ を超える日が2日以上連続しないこと。
光化学オキシダント (Ox)	1時間値が、0.06ppm以下であること。	年間を通じて、1時間値が0.06ppm以下に維持されること。ただし、6時から20時の昼間時間帯について評価する。
微小粒子状物質	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。	1年平均値が長期基準の15μg/m ³ 以下であり、かつ1日平均値の年間98%値が35μg/m ³ 以下であること。
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。	
トリクロロエチレン	1年平均値が0.13mg/m ³ 以下であること。	
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。	
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m ³ 以下であること。	

(注)

1. 年間の日平均値の2%除外値：1年間の日平均値を高い方から順に数えて、全体の2%までの値を除外した残りの日平均値の中で最も高い値。
2. 日平均値の年間98%値：1年間の日平均値を低い方から順に数えて全体の98%に相当する値。
3. 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質については短期的な評価も行います。短期的評価とは、連続して又は随時に行った測定結果により、測定を行った日又は時間について評価します。
4. 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については適用されません。

● 大気測定局別測定項目一覧

市内の大気の状態を把握するため、大阪府により本市中心地域に茨木市役所局、南部地域に中央卸売市場局の2局が設置され、本市が丘陵地域に耳原小学校局を設置しています。なお、監視地点各局における測定項目は、下表のとおりです。

測定局 \ 項目	二酸化硫黄	一酸化窒素	二酸化窒素	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	風向き	風速	日射量
茨木市役所局	○	○	○		○	○	○	○	○	○
中央卸売市場局	○	○	○	○		○		○	○	
耳原小学校局	○	○	○		○	○		○	○	

● 大気測定局監視地点図



● 測定局別環境基準達成状況

茨木市役所局と耳原小学校局の2局で測定している光化学オキシダントについて、環境基準未達成となりました。

その他の測定項目については、長期、短期的評価で環境基準を達成しました。

測定局 項目		局名		
		茨木市役所局	中央卸売市場局	耳原小学校局
測定項目	二酸化硫黄	○	○	○
		○	○	○
	二酸化窒素	○	○	○
		-	-	-
	浮遊粒子状物質	○	○	○
		○	○	○
	一酸化炭素	-	○	-
		-	○	-
	光化学オキシダント	-	-	-
		×	-	×
	微小粒子状物質	○	-	-
		○	-	-

上段は、P3「大気汚染に係る環境基準」の表中、環境基準の長期的評価方法を満たしていれば「○」、満たしていなければ「×」、測定していなければ「-」と表記している。下段は、P3「大気汚染に係る環境基準」の表中、「環境上の条件」を満たしていれば「○」、満たしていなければ「×」、測定していなければ「-」と表記している。

上段：長期的評価
下段：短期的評価

● 大気測定局による年間測定結果（令和2年度）

① 二酸化硫黄濃度測定結果

項目 測定局	有効測定日数 日	測定時間 時間	年度 平均値 ppm	日平均値が0.04ppmを超えた日数及びその日数の測定日数に対する割合		1時間値が0.1ppmを超えた時間数及びその時間数の測定時間に対する割合		1時間値の最高値 ppm	日平均値の2%除外値 ppm
				日	%	時間	%		
茨木市役所局	364	8,625	0.001	0	0.0	0	0.0	0.008	0.002
中央卸売市場局	362	8,603	0.001	0	0.0	0	0.0	0.006	0.002
耳原小学校局	363	8,616	0.000	0	0.0	0	0.0	0.015	0.001

（茨木市役所局、中央卸売市場局については、大阪府提供資料に基づき作成）

② 二酸化窒素濃度測定結果

項目 測定局	有効測定日数 日	測定時間 時間	年度 平均値 ppm	日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		1時間値の最高値 ppm	日平均値の年間98%値 ppm
				日	%	日	%		
茨木市役所局	353	8,406	0.012	0	0.0	0	0.0	0.058	0.027
中央卸売市場局	363	8,632	0.014	0	0.0	0	0.0	0.061	0.029
耳原小学校局	362	8,609	0.008	0	0.0	0	0.0	0.054	0.020

（茨木市役所局、中央卸売市場局については、大阪府提供資料に基づき作成）

③ 一酸化窒素濃度測定結果

項目 測定局	一酸化窒素（NO）				
	有効測定日数 日	測定時間 時間	年度 平均値 ppm	1時間値の 最高値 ppm	日平均値の 年間98%値 ppm
	茨木市役所局	353	8,406	0.003	0.107
中央卸売市場局	363	8,632	0.005	0.137	0.021
耳原小学校局	362	8,609	0.002	0.065	0.007

（茨木市役所局、中央卸売市場局については、大阪府提供資料に基づき作成）

④ 窒素酸化物濃度測定結果

項目 測定局	窒素酸化物（NO+NO2）					
	有効測定日数 日	測定時間 時間	年度 平均値 ppm	1時間値の 最高値 ppm	日平均値の 年間98%値 ppm	年度平均値の NO2/NO+NO2 %
	茨木市役所局	354	8,406	0.014	0.139	0.041
中央卸売市場局	363	8,632	0.019	0.182	0.049	74.6
耳原小学校局	362	8,609	0.010	0.109	0.028	83.7

⑤ 光化学オキシダント濃度測定結果

項目	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間		昼間の1時間値の最高値
			日	時間	日	時間	
測定局							ppm
茨木市役所局	364	5,379	49	210	0	0	0.096
耳原小学校局	365	5,409	78	356	0	0	0.107

(茨木市役所局については、大阪府提供資料に基づき作成)

⑥ 浮遊粒子状物質濃度(ベータ線法)測定結果

項目	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m3を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m3を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m3を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m3を超えた日数
				時間	%	日	%				
測定局	日	時間	mg/m3	時間	%	日	%	mg/m3	mg/m3	有× 無○	日
茨木市役所局	361	8,646	0.012	0	0.0	0	0.0	0.068	0.027	○	0
中央卸売市場局	361	8,666	0.015	0	0.0	0	0.0	0.080	0.031	○	0
耳原小学校局	360	8,632	0.012	0	0.0	0	0.0	0.102	0.028	○	0

(茨木市役所局、中央卸売市場局については、大阪府提供資料に基づき作成)

⑦ 一酸化炭素濃度測定結果

項目	有効測定日数	測定時間	年平均値	日平均値が10ppmを超えた日数及びその日数の測定日数に対する割合		8時間平均値が20ppmを超えた回数及びその回数の測定回数に対する割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値
				日	%	回	%		
測定局	日	時間	ppm	日	%	回	%	ppm	ppm
中央卸売市場局	363	8,654	0.3	0	0.0	0	0.0	0.9	0.4

(中央卸売市場局については、大阪府提供資料に基づき作成)

⑧ 微小粒子状物質濃度測定結果

項目	有効測定日数	測定時間	年平均値	日平均値の年間98%値
測定局				
茨木市役所局	359	8,616	9	20

(大阪府提供資料に基づき作成)

● 光化学スモッグ発令状況

(茨木市域)

月日	区分	発令時間	解除時間	延発令時間
令和3年度は発令なし				

2 水環境の保全

ア 公共用水域

水質汚濁に係る環境基準は、環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づき、公共用水域の水質汚濁に係る環境上の条件について「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として、定められています（昭和46年12月28日環境庁告示第59号）。

● 生活環境の保全に係る環境基準

「生活環境項目」として、河川、湖沼及び海域ごとに水利目的等に応じた水域類型を設け、各類型ごとに基準値が定められています。市域においては類型に基づき、下記5地点が環境基準点、準基準点として設定されています。

水域	河川名	測定地点	類型	pH (-)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
神 崎 川	安威川	桑ノ原橋	A	6.5~8.5	2以下	25以下	7.5以上	1,000以下
		千歳橋(準基準点)						
		宮鳥橋						
	茨木川	安威川合流直前						
	勝尾寺川	中河原橋						

水域	河川名	測定地点	類型	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS) (mg/L)
神 崎 川	安威川	桑ノ原橋	生物A	0.03以下	0.001以下	0.03以下
		千歳橋(準基準点)	生物B	0.03以下	0.002以下	0.05以下
		宮鳥橋				
	茨木川	安威川合流直前				
	勝尾寺川	中河原橋				

● 人の健康の保護に係る環境基準

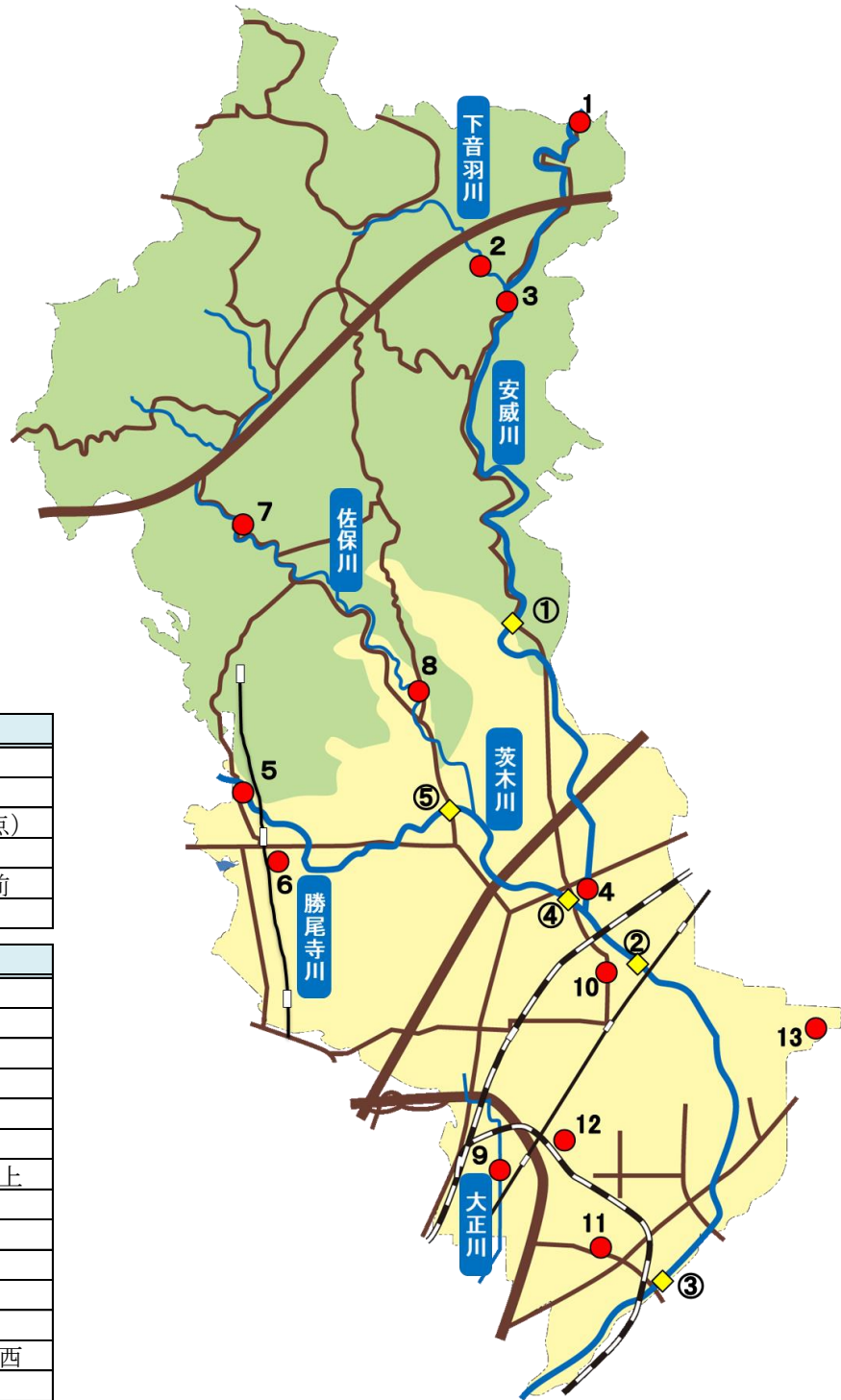
「健康項目」として、全公共用水域において合計27項目が定められています。
(全地点一律適用)

項 目	基 準 値	項 目	基 準 値
カドミウム	0.003mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
鉛	0.01mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
六価クロム	0.05mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下	チウラム	0.006mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下	シマジン	0.003mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02mg/L以下
PCB	検出されないこと	ベンゼン	0.01mg/L以下
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	セレン	0.01mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	ふっ素	0.8mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	ほう素	1mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下		

● 公共用水域の環境基準点、準基準点及び補助地点

水質汚濁防止法第16条による大阪府公共用水域の測定計画に基づき、河川の環境基準点等5地点において水質の常時監視を行っています。また、環境基準点等以外の13地点を独自調査地点（補助地点）と位置づけ、補完的に測定を行っています。

公共用水域の環境基準点、準基準点及び補助地点



環境基準点、準基準点（◆印）			
地点	河川名	類型	地点名
①	安威川	A、生物A	桑ノ原橋
②	〃	A、生物B	千歳橋（準基準点）
③	〃	A、生物B	宮鳥橋
④	茨木川	A、生物B	安威川合流直前
⑤	勝尾寺川	A、生物B	中河原橋

補助地点（●印）			
地点	河川名	類型	地点名
1	安威川	A、生物A	最上流（府境）
2	下音羽川	—	馬ヶ瀬橋
3	安威川	A、生物A	車作大橋
4	〃	A、生物B	西河原橋
5	勝尾寺川	A、生物B	上河原橋
6	箕川	—	勝尾寺川合流点上
7	佐保川	A、生物B	免山橋
8	〃	A、生物B	福井橋
9	大正川	A、生物B	西沢良宜橋
10	高瀬川水路	—	市斎場横
11	北川水路	—	わけた橋
12	小川水路	—	東奈良小学校南西
13	柳川水路	—	朝夕橋

●公共用水域(環境基準点、準基準点)の河川水質測定結果(令和3年度)

①生活環境項目、健康項目、特殊項目及び要監視項目

河川名	安威川			安威川			安威川		
	桑ノ原橋			千歳橋(準基準点)			宮島橋		
地点名	平均値	最小値 最大値	m / n	平均値	最小値 最大値	m / n	平均値	最小値 最大値	m / n
測定値									
水温(℃)	15.5	3.5 26.5	/	15.7	4.0 27.0	/	16.3	3.5 29.0	/
流量(m³/s)	2.78	1.19 5.37	/	0.70	0.14 2.34	/	0.84	0.08 3.37	/
pH(-)		7.9 8.7	1 / 16		7.9 9.6	8 / 16		7.5 9.6	15 / 48
DO(mg/L)	11	8.0 13	0 / 4	11	8.0 14	0 / 4	10	8.0 13	0 / 12
BOD(mg/L)	0.7	<0.5 0.9	0 / 4	0.8	0.7 0.9	0 / 4	0.9	0.5 1.9	0 / 12
COD(mg/L)	1.8	1.2 2.9	- / 4	2.2	1.3 3.2	- / 4	2.4	1.1 3.7	- / 12
SS(mg/L)	9	5 13	0 / 4	5	1 12	0 / 4	8	2 19	0 / 12
大腸菌群数(MPN/100mL)	7.3×103	2.2×102 2.2×104	3 / 4	6.3×103	2.3×101 1.7×104	2 / 4	2.1×103	4.9×101 7.9×103	8 / 12
全窒素(mg/L)	0.61	0.36 0.88	- / 4	0.57	0.30 0.84	- / 2	0.43	0.16 0.89	- / 4
全磷(mg/L)	0.040	0.026 0.074	- / 4	0.040	0.014 0.065	- / 2	0.035	0.016 0.075	- / 4
全亜鉛(水生生物)	0.004	<0.001 0.010	0 / 4	0.001	0.001 0.001	0 / 2	0.001	0.001 0.001	0 / 4
ノニルフェノール(水生生物)	<0.00006	<0.00006 0.00006	0 / 2			/	<0.00006	<0.00006 0.00006	0 / 2
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(水生生物)	0.0019	<0.0006 0.0031	0 / 2			/	0.0015	0.0006 0.0024	0 / 2
カドミウム(mg/L)	<0.0003	<0.0003 0.0003	0 / 2			/	<0.0003	<0.0003 0.0003	0 / 2
全シアン(mg/L)	N.D	N.D N.D	0 / 2			/	N.D	N.D N.D	0 / 2
鉛(mg/L)	<0.005	<0.005 0.005	0 / 2			/	<0.005	<0.005 0.005	0 / 2
六価クロム(mg/L)	<0.02	<0.02 0.02	0 / 2			/	<0.02	<0.02 0.02	0 / 2
ヒ素(mg/L)	<0.005	<0.005 0.005	0 / 2			/	<0.005	<0.005 0.005	0 / 2
総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005 0.0005	0 / 2			/	<0.0005	<0.0005 0.0005	0 / 2
PCB(mg/L)	N.D	N.D N.D	0 / 1			/	N.D	N.D N.D	0 / 1
ジクロロメタン(mg/L)	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2			/	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2
四塩化炭素(mg/L)	<0.0002	<0.0002 0.0002	0 / 2			/	<0.0002	<0.0002 0.0002	0 / 2
1,2-ジクロロエタン(mg/L)	<0.0004	<0.0004 0.0004	0 / 2			/	<0.0004	<0.0004 0.0004	0 / 2
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2			/	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2
シス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.004	<0.004 0.004	0 / 2			/	<0.004	<0.004 0.004	0 / 2
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0005	<0.0005 0.0005	0 / 2			/	<0.0005	<0.0005 0.0005	0 / 2
1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0006	<0.0006 0.0006	0 / 2			/	<0.0006	<0.0006 0.0006	0 / 2
トリクロロエチレン(mg/L)	<0.001	<0.001 0.001	0 / 2			/	<0.001	<0.001 0.001	0 / 2
テトラクロロエチレン(mg/L)	<0.0005	<0.0005 0.0005	0 / 2			/	<0.0005	<0.0005 0.0005	0 / 2
1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	<0.0002	<0.0002 0.0002	0 / 2			/	<0.0002	<0.0002 0.0002	0 / 2
チウラム(mg/L)	<0.0006	<0.0006 0.0006	0 / 2			/	<0.0006	<0.0006 0.0006	0 / 2
シマジン(mg/L)	<0.0003	<0.0003 0.0003	0 / 2			/	<0.0003	<0.0003 0.0003	0 / 2
チオベンカルブ(mg/L)	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2			/	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2
ベンゼン(mg/L)	<0.001	<0.001 0.001	0 / 2			/	<0.001	<0.001 0.001	0 / 2
セレン(mg/L)	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2			/	<0.002	<0.002 0.002	0 / 2
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)	0.36	0.13 0.59	0 / 2	0.36	0.12 0.59	0 / 2	0.32	0.10 0.53	0 / 2
ふっ素(mg/L)	0.12	0.10 0.13	0 / 2	0.20	0.17 0.22	0 / 2	0.16	0.14 0.18	0 / 2
ほう素(mg/L)	0.02	<0.02 0.02	0 / 2	0.04	0.03 0.04	0 / 2	0.03	0.03 0.03	0 / 2
1,4-ジオキサソ(mg/L)	<0.005	<0.005 0.005	0 / 2			/	<0.005	<0.005 0.005	0 / 2
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	N.D	N.D N.D	- / 2			- /	N.D	N.D N.D	- / 1
フェノール類(mg/L)	<0.005	<0.005 0.005	- / 2			- /	<0.005	<0.005 0.005	- / 1
銅(mg/L)	0.017	0.016 0.017	- / 2	0.018	0.018 0.018	- / 1	0.009	0.009 0.009	- / 1
鉄(溶解性)(mg/L)	0.09	<0.08 0.09	- / 2	<0.08	<0.08 0.08	- / 1	<0.08	<0.08 0.08	- / 1
マンガン(溶解性)(mg/L)	<0.01	<0.01 0.01	- / 2	<0.01	<0.01 0.01	- / 1	<0.01	<0.01 0.01	- / 1
全クロム(mg/L)	<0.03	<0.03 0.03	- / 2			- /	<0.03	<0.03 0.03	- / 1
陰イオン界面活性剤(mg/L)	0.01	0.01 0.01	- / 2	0.03	0.03 0.03	- / 1	0.03	0.03 0.03	- / 1
アンモニア性窒素(mg/L)	0.05	0.04 0.06	- / 2	0.08	0.08 0.08	- / 1	0.04	0.04 0.04	- / 1
硝酸性窒素(mg/L)	0.32	0.09 0.55	- / 2	0.32	0.08 0.55	- / 2	0.28	0.06 0.49	- / 2
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.04	<0.04 0.04	- / 2	<0.04	<0.04 0.04	- / 2	<0.04	<0.04 0.04	- / 2
りん酸性りん(mg/L)	0.036	0.020 0.052	- / 2	0.045	0.045 0.045	- / 1	0.049	0.049 0.049	- / 1
PFOS及びPFOA(mg/L)			/			/	0.000011	0.000011 0.000011	0 / 1
クロロホルム(mg/L)			/			/	<0.005	<0.005 0.005	- / 1
フェノール(mg/L)			/			/	<0.006	<0.006 0.006	- / 1
ホルムアルデヒド(mg/L)			/			/	<0.003	<0.003 0.003	- / 1
4-tert-オクチルフェノール(mg/L)			/			/	<0.00003	<0.00003 0.00003	- / 1
アニリン(mg/L)			/			/	<0.002	<0.002 0.002	0 / 1
2,4-ジクロロフェノール(mg/L)			/			/	<0.0003	<0.0003 0.0003	0 / 1

河川名	茨木川			勝尾寺川			
	地点名	安威川合流直前		中河原橋			
測定値	平均値	最小値 最大値	m / n	平均値	最小値 最大値	m / n	
水 温 (℃)	16.1	4.0 27.5	/	16.4	4.5 29.0	/	
流 量 (m³/s)	0.92	0.23 1.75	/	0.41	0.03 1.36	/	
生活環境項目	pH (-)	7.6 9.4	13 / 48		7.6 9.3	14 / 48	
	DO (mg/L)	11	0 / 12	12	8.6 15	0 / 12	
	BOD (mg/L)	0.9	<0.5 1.8	0 / 12	1.1	<0.5 3.1	1 / 12
	COD (mg/L)	2.1	1.1 3.0	- / 12	2.6	1.5 4.9	- / 12
	SS (mg/L)	2	<1 11	0 / 12	3	<1 12	0 / 12
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	2.8×103	3.3×101 1.3×104	7 / 12	5.7×103	2.3×101 1.7×104	9 / 12
	全窒素 (mg/L)	0.53	0.40 0.77	- / 12	0.50	0.29 0.78	- / 4
	全磷 (mg/L)	0.026	0.014 0.052	- / 4	0.031	0.019 0.063	- / 4
	全亜鉛 (水生生物) (mg/L)	0.001	0.001 0.002	0 / 4	0.001	<0.001 0.002	0 / 3
	ノニルフェノール (水生生物) (mg/L)	<0.00006	<0.00006 <0.00006	0 / 2	<0.00006	<0.00006 <0.00006	0 / 2
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (水生生物) (mg/L)	0.0016	0.0011 0.0020	0 / 2	0.0022	0.0014 0.0030	0 / 2
	健康項目	カドミウム (mg/L)		/	<0.0003	<0.0003 <0.0003	
全シアン (mg/L)			/	N.D	N.D N.D		
鉛 (mg/L)			/	<0.005	<0.005 <0.005		
六価クロム (mg/L)			/	<0.02	<0.02 <0.02		
ひ素 (mg/L)			/	<0.005	<0.005 <0.005		
総水銀 (mg/L)			/	<0.0005	<0.0005 <0.0005		
PCB (mg/L)			/	N.D	N.D N.D		
ジクロロメタン (mg/L)			/	<0.002	<0.002 <0.002		
四塩化炭素 (mg/L)			/	<0.0002	<0.0002 <0.0002		
1,2-ジクロロエタン (mg/L)			/	<0.0004	<0.0004 <0.0004		
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)			/	<0.002	<0.002 <0.002		
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)			/	<0.004	<0.004 <0.004		
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)			/	<0.0005	<0.0005 <0.0005		
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)			/	<0.0006	<0.0006 <0.0006		
トリクロロエチレン (mg/L)			/	<0.001	<0.001 <0.001		
テトラクロロエチレン (mg/L)			/	<0.0005	<0.0005 <0.0005		
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)			/	<0.0002	<0.0002 <0.0002		
チウラム (mg/L)			/	<0.0006	<0.0006 <0.0006		
シマジン (mg/L)			/	<0.0003	<0.0003 <0.0003		
チオベンカルブ (mg/L)			/	<0.002	<0.002 <0.002		
ベンゼン (mg/L)			/	<0.001	<0.001 <0.001		
セレン (mg/L)			/	<0.002	<0.002 <0.002		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.40	0.23 0.57	0 / 2	0.33	0.10 0.56	0 / 2
ふっ素 (mg/L)		0.24	0.24 0.24	0 / 2	0.18	0.17 0.19	0 / 2
ほう素 (mg/L)		0.03	0.02 0.03	0 / 2	0.03	0.03 0.03	0 / 2
1,4-ジオキサン (mg/L)				/	<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2
特殊項目	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)		- /	N.D	N.D N.D		
	フェノール類 (mg/L)		- /	<0.005	<0.005 <0.005		
	銅 (mg/L)	0.006	0.006 0.006	- / 1	0.011	0.011 0.011	- / 1
	鉄 (溶解性) (mg/L)	<0.08	<0.08 <0.08	- / 1	<0.08	<0.08 <0.08	- / 1
	マンガン (溶解性) (mg/L)	<0.01	<0.01 <0.01	- / 1	<0.01	<0.01 <0.01	- / 1
	全クロム (mg/L)			- /	<0.03	<0.03 <0.03	- / 1
	陰イオン界面活性剤 (mg/L)	0.03	0.03 0.03	- / 1	0.03	0.03 0.03	- / 1
	アンモニア性窒素 (mg/L)	0.07	0.07 0.07	- / 1	0.08	0.08 0.08	- / 1
	硝酸性窒素 (mg/L)	0.36	0.19 0.53	- / 2	0.29	0.06 0.52	- / 2
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	<0.04	<0.04 <0.04	- / 2	<0.04	<0.04 <0.04	- / 2
	りん酸性りん (mg/L)	0.041	0.041 0.041	- / 1	0.046	0.046 0.046	- / 1
	要監視項目	PFOS及びPFOA (mg/L)	0.000016	0.000016 0.000016	0 / 1	0.000025	0.000025 0.000025
クロロホルム (mg/L)				- / 1	<0.001	<0.001 <0.001	- / 1
フェノール (mg/L)				- / 1	<0.006	<0.006 <0.006	- / 1
ホルムアルデヒド (mg/L)				- / 1	<0.003	<0.003 <0.003	- / 1
4-t-オクチルフェノール (mg/L)				- / 1	<0.00003	<0.00003 <0.00003	- / 1
アニリン (mg/L)				/	<0.002	<0.002 <0.002	0 / 1
2,4-ジクロロフェノール (mg/L)			/	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0 / 1	

② 要監視項目

(単位：mg/L)

河川名	安 威 川	
地点名	宮 鳥 橋	
測定値	測定結果	m / n
クロロホルム	<0.006	0 / 1
トランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0 / 1
1,2-ジクロロプロパン	<0.006	0 / 1
p-ジクロロベンゼン	<0.03	0 / 1
イソキサチオン	<0.0008	0 / 1
ダイアジノン	<0.0005	0 / 1
フェニトロチオン	<0.0003	0 / 1
イソプロチオラン	<0.004	0 / 1
オキシシン銅	<0.004	0 / 1
クロロタロニル	<0.004	0 / 1
プロピザミド	<0.0008	0 / 1
E P N	<0.0006	0 / 1
ジクロロボス	<0.0008	0 / 1
フェノブカルブ	<0.002	0 / 1
イプロベンホス	<0.0008	0 / 1
クロルニトロフェン	<0.0001	- / 1
トルエン	<0.06	0 / 1
キシレン	<0.04	0 / 1
フタル酸ジエチルヘキシル	<0.006	0 / 1
ニッケル	<0.001	- / 1
モリブデン	<0.007	0 / 1
アンチモン	0.0002	0 / 1
塩化ビニルモノマー	<0.0002	0 / 1
エピクロロヒドリン	<0.00003	0 / 1
全マンガン	<0.02	0 / 1
ウ ラ ン	0.0005	0 / 1

※mは基準値、目標または指針値不適合回数、nは測定回数

● 公共用水域(環境基準点以外の地点)の河川水質測定結果

河川名		安威川			下音羽川			安威川		
地点名		最上流(府境)			馬ヶ瀬橋			車作大橋		
測定値		平均値	最小値 最大値	m/n	平均値	最小値 最大値	測定回数	平均値	最小値 最大値	m/n
水温(℃)		14.6	4.5 26.5	- / 4	13.5	5.4 22.5	4	14.2	4.9 25.0	- / 4
流量(m ³ /s)								1.10	0.32 1.48	- / 4
生 活 環 境 項 目	pH(-)	-	7.9 8.4	0 / 4	-	7.8 8.1	4	-	8.1 8.6	1 / 4
	DO(mg/L)	11	10 13	0 / 4	11	8.6 13	4	11	8.7 13	0 / 4
	BOD(mg/L)	0.9	0.7 1.0	0 / 4	0.7	<0.5 0.8	4	0.6	<0.5 0.8	0 / 4
	COD(mg/L)	1.9	0.6 3.0	- / 4	1.2	0.5 2.0	4	1.6	0.7 3.2	- / 4
	SS(mg/L)	4	<1 11	0 / 4	7	<1 25	4	6	<1 15	0 / 4
	大腸菌群数(MPN/100mL)							5,600	49 17,000	3 / 4
	全窒素(mg/L)							0.66	0.31 1.1	- / 4
	全リン(mg/L)							0.044	0.015 0.092	- / 4
	全亜鉛(mg/L)							0.001	0.001 0.001	0 / 4
	健 康 項 目	カドミウム(mg/L)							<0.0003	<0.0003 <0.0003
全シアン(mg/L)								<0.1	<0.1 <0.1	0 / 2
鉛(mg/L)								<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2
六価クロム(mg/L)								<0.02	<0.02 <0.02	0 / 2
ひ素(mg/L)								<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2
総水銀(mg/L)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2
ポリ塩化ビフェニル(PCB)(mg/L)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 1
ジクロロメタン(mg/L)								<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2
四塩化炭素(mg/L)								<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2
1,2-ジクロロエタン(mg/L)								<0.0004	<0.0004 <0.0004	0 / 2
1,1-ジクロロエチレン(mg/L)								<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2
トリス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)								<0.004	<0.004 <0.004	0 / 2
1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2
1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)								<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2
トリクロロエチレン(mg/L)								<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2
テトラクロロエチレン(mg/L)								<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2
1,3-ジクロロプロペン(mg/L)								<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2
チウラム(mg/L)								<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2
シマジン(mg/L)								<0.0003	<0.0003 <0.0003	0 / 2
チオベンカルブ(mg/L)								<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2
ベンゼン(mg/L)							<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2	
セレン(mg/L)							<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)							0.46	0.22 0.69	0 / 2	
ふっ素(mg/L)							0.09	0.09 0.09	0 / 2	
ほう素(mg/L)							0.03	<0.02 0.04	0 / 2	
1,4-ジオキサン(mg/L)							<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2	

河川名		安威川			勝尾寺川			箕川		
地点名		西河原橋			上河原橋			勝尾寺川合流点上		
測定値		平均値	最小値 最大値	m/n	平均値	最小値 最大値	m/n	平均値	最小値 最大値	測定回数
水温 (°C)		16.0	6.0 26.0	- / 4	16.4	7.2 21.9	- / 4	17.0	7.4 27.0	4
流量 (m ³ /s)					0.08	0.02 0.15	- / 4			
生 活 環 境 項 目	pH (-)	-	8.1 9.0	1 / 4	-	8.1 8.4	0 / 4	-	7.9 8.9	4
	DO (mg/L)	12	10 14	0 / 4	11	9.0 12	0 / 4	12	10 15	4
	BOD (mg/L)	0.9	0.7 1.1	0 / 4	0.7	0.5 0.9	0 / 4	2.0	0.8 5.3	4
	COD (mg/L)	2.2	1.1 4.0	- / 4	2.0	1.3 2.7	- / 4	3.6	2.0 6.7	4
	SS (mg/L)	11	<1 18	0 / 4	3	<1 4	0 / 4	1	<1 1	4
	大腸菌群数 (MPN/100mL)				7,800	170 24,000	3 / 4			
	全窒素 (mg/L)				0.63	0.48 0.75	- / 4			
	全リン (mg/L)				0.029	0.011 0.052	- / 4			
	全亜鉛 (mg/L)				0.002	0.001 0.002	0 / 4			
	健 康 項 目	カドミウム (mg/L)				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0 / 2		
全シアン (mg/L)					<0.1	<0.1 <0.1	0 / 2			
鉛 (mg/L)					<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2			
六価クロム (mg/L)					<0.02	<0.02 <0.02	0 / 2			
ひ素 (mg/L)					<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2			
総水銀 (mg/L)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2			
ポリ塩化ビフェニル (PCB) (mg/L)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 1			
ジクロロメタン (mg/L)					<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2			
四塩化炭素 (mg/L)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2			
1,2-ジクロロエタン (mg/L)					<0.0004	<0.0004 <0.0004	0 / 2			
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)					<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2			
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)					<0.004	<0.004 <0.004	0 / 2			
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2			
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2			
トリクロロエチレン (mg/L)					<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2			
テトラクロロエチレン (mg/L)					<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2			
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)					<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2			
チウラム (mg/L)					<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2			
シマジン (mg/L)					<0.0003	<0.0003 <0.0003	0 / 2			
チオベンカルブ (mg/L)					<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2			
ベンゼン (mg/L)					<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2			
セレン (mg/L)					<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)					0.43	0.30 0.56	0 / 2			
ふっ素 (mg/L)					0.14	0.13 0.15	0 / 2			
ほう素 (mg/L)					0.04	0.03 0.04	0 / 2			
1,4-ジオキサン (mg/L)					<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2			

河川名		佐保川			佐保川			大正川		
地点名		免山橋			福井橋			西沢良宜橋		
測定値		平均値	最小値 最大値	m/n	平均値	最小値 最大値	m/n	平均値	最小値 最大値	m/n
水温 (°C)		15.2	5.9 26.2	- / 4	15.6	4.5 25.8	- / 4	20.1	9.8 29.1	- / 4
流量 (m3/s)		0.08	0.02 0.17	- / 4				0.03	0.00 0.08	- / 4
生 活 環 境 項 目	pH (-)	-	7.8 8.1	0 / 4	-	7.7 8.2	0 / 4	-	7.4 9.4	2 / 4
	DO (mg/L)	9.9	8.5 11	0 / 4	11	9.1 12	0 / 4	11	7.9 14	0 / 4
	BOD (mg/L)	0.7	<0.5 0.8	0 / 4	0.7	<0.5 0.8	0 / 4	1.2	0.8 1.4	0 / 4
	COD (mg/L)	1.7	0.8 2.7	- / 4	2.0	1.0 2.8	- / 4	4.8	3.8 6.1	- / 4
	SS (mg/L)	2	<1 5	0 / 4	2	<1 3	0 / 4	2	1 5	0 / 4
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	12,100	2,400 28,000	4 / 4				23,300	49 92,000	2 / 4
	全窒素 (mg/L)	0.86	0.73 0.99	- / 4				1.0	0.48 1.5	- / 4
	全リン (mg/L)	0.049	0.034 0.064	- / 4				0.037	0.023 0.050	- / 4
	全亜鉛 (mg/L)	0.001	<0.001 0.001	0 / 4				0.007	0.005 0.009	0 / 4
	健 康 項 目	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003 <0.0003	0 / 2				<0.0003	<0.0003 <0.0003
全シアン (mg/L)		<0.1	<0.1 <0.1	0 / 2				<0.1	<0.1 <0.1	0 / 2
鉛 (mg/L)		<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2				<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2
六価クロム (mg/L)		<0.02	<0.02 <0.02	0 / 2				<0.02	<0.02 <0.02	0 / 2
ひ素 (mg/L)		<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2				<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2
総水銀 (mg/L)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2
ポリ塩化ビフェニル (PCB) (mg/L)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 1				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 1
ジクロロメタン (mg/L)		<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2				<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2
四塩化炭素 (mg/L)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2
1,2-ジクロロエタン (mg/L)		<0.0004	<0.0004 <0.0004	0 / 2				<0.0004	<0.0004 <0.0004	0 / 2
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2				<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004	<0.004 <0.004	0 / 2				<0.004	<0.004 <0.004	0 / 2
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2
トリクロロエチレン (mg/L)		<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2				<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2
テトラクロロエチレン (mg/L)		<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2				<0.0005	<0.0005 <0.0005	0 / 2
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)		<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2				<0.0002	<0.0002 <0.0002	0 / 2
チウラム (mg/L)		<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2				<0.0006	<0.0006 <0.0006	0 / 2
シマジン (mg/L)		<0.0003	<0.0003 <0.0003	0 / 2				<0.0003	<0.0003 <0.0003	0 / 2
チオベンカルブ (mg/L)		<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2				<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2
ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2				<0.001	<0.001 <0.001	0 / 2	
セレン (mg/L)	<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2				<0.002	<0.002 <0.002	0 / 2	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.77	0.68 0.85	0 / 2				0.14	0.08 0.18	0 / 2	
ふっ素 (mg/L)	0.33	0.29 0.36	0 / 2				0.11	0.10 0.11	0 / 2	
ほう素 (mg/L)	<0.02	0.02 <0.02	0 / 2				0.03	0.03 <0.02	0 / 2	
1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2				<0.005	<0.005 <0.005	0 / 2	

河川名		高瀬川水路			北川水路			小川水路		
地点名		市斎場横			わけた橋			東奈良小学校南西		
測定値		平均値	最小値 最大値	測定回数	平均値	最小値 最大値	測定回数	平均値	最小値 最大値	測定回数
水温 (℃)		16.7	8.1 25.9	4	18.7	6.8 30.0	4	19.5	6.9 31.9	4
流量 (m ³ /s)										
生活環境項目	pH (-)	-	8.6 8.9	4	-	9.1 9.8	4	-	8.1 9.8	4
	DO (mg/L)	12	9.9 15	4	16	11 19	4	13	11 15	4
	BOD (mg/L)	1.4	1.0 1.8	4	1.4	1.0 1.8	4	1.2	0.9 1.6	4
	COD (mg/L)	3.2	2.0 5.1	4	3.7	2.4 5.1	4	4.6	2.9 6.3	4
	SS (mg/L)	9	2 21	4	12	4 24	4	4	1 9	4
	大腸菌群数 (MPN/100mL)							730	<1.8 2,400	4
	全窒素 (mg/L)									
	全リン (mg/L)									
	全亜鉛 (mg/L)									
	健康項目	カドミウム (mg/L)								
全シアン (mg/L)										
鉛 (mg/L)										
六価クロム (mg/L)										
ひ素 (mg/L)										
総水銀 (mg/L)										
ポリ塩化ビフェニル (PCB) (mg/L)										
ジクロロメタン (mg/L)										
四塩化炭素 (mg/L)										
1,2-ジクロロエタン (mg/L)										
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)										
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)										
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)										
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)										
トリクロロエチレン (mg/L)										
テトラクロロエチレン (mg/L)										
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)										
チウラム (mg/L)										
シマジン (mg/L)										
チオベンカルブ (mg/L)										
ベンゼン (mg/L)										
セレン (mg/L)										
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)										
ふっ素 (mg/L)										
ほう素 (mg/L)										
1,4-ジオキサン (mg/L)										

河川名		柳川水路		
地点名		朝夕橋		
測定値		平均値	最小値 最大値	測定回数
水温	(℃)	18.6	6.3 30.4	4
流量	(m ³ /s)			
生活環境項目	pH	(-)	7.6 9.4	4
	DO	(mg/L)	14 18	4
	BOD	(mg/L)	1.5 2.2	4
	COD	(mg/L)	3.8 4.4	4
	SS	(mg/L)	11 23	4
	大腸菌群数	(MPN/100mL)		
	全窒素	(mg/L)		
	全磷	(mg/L)		
	全亜鉛	(mg/L)		
	カドミウム	(mg/L)		
	全シアン	(mg/L)		
	鉛	(mg/L)		
	六価クロム	(mg/L)		
	ヒ素	(mg/L)		
健康項目	総水銀	(mg/L)		
	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	(mg/L)		
	ジクロロメタン	(mg/L)		
	四塩化炭素	(mg/L)		
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)		
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)		
	シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)		
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)		
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)		
	トリクロロエチレン	(mg/L)		
	テトラクロロエチレン	(mg/L)		
	1,3-ジクロロプロパン	(mg/L)		
	チウラム	(mg/L)		
	シマジン	(mg/L)		
	チオベンカルブ	(mg/L)		
	ベンゼン	(mg/L)		
	セレン	(mg/L)		
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)		
	ふっ素	(mg/L)		
	ほう素	(mg/L)		
1,4-ジオキサン	(mg/L)			

イ 地下水

● 地下水質に係る環境基準

環境基本法第16条第1項の規定に基づき、人の健康の保護を目的として「地下水の水質汚濁に係る環境基準」（平成9（1997）年3月13日告示第10号）が設定されています。

項目	環境基準	項目	環境基準
カドミウム	0.003mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
鉛	0.01mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
六価クロム	0.05mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下	チウラム	0.006mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下	シマジン	0.003mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02mg/L以下
PCB	検出されないこと	ベンゼン	0.01mg/L以下
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	セレン	0.01mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
クロロエチレン	0.002mg/L以下	ふっ素	0.8mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	ほう素	1mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	PFOS及びPFOA（要監視項目）	0.00005mg/L以下 {指針値（暫定）}
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下		

● 地下水質継続監視調査結果

水質汚濁防止法第16条による大阪府公共用水域の測定結果に基づき、地下水の継続監視調査を行っています。過去に地下水汚染が判明した地点について、継続的に監視を行うために実施している地下水質調査です。

物質名	調査地区	検出回数 ／調査回数	基準超過回数 ／調査回数	平均値 (mg/L)	環境基準 (mg/L)
クロロエチレン	耳原	2/2	1/2	0.0044	0.002以下
1,1-ジクロロエチレン		0/2	0/2	<0.002	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン		2/2	1/2	0.100	0.04以下
トリクロロエチレン		2/2	2/2	0.003	0.01以下
テトラクロロエチレン		2/2	1/2	0.0006	0.01以下

● 地下水質概況調査（ローリング方式）結果

水質汚濁防止法第16条による大阪府公共用水域の測定結果に基づき、地下水の概況調査を行っています。市内を2kmメッシュ（山間部では4kmメッシュ）に区切った、15地点を5年ごと（1年間で3地点）に調査しています。

調査地点所在地		豊原町	見付山	東野々宮町
測定日		R3.11.11	R3.11.11	R3.11.11
調査井戸の緒元	深度 (m)	10	150	200
	飲用の有無	無	有	無
環境基準健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	全シアン (mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム (mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02
	砒素 (mg/L)	0.007	<0.005	<0.005
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	—
	PCB (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	クロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002
	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	チウラム (mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	シマジン (mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001
	セレン (mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	1.0	<0.08	<0.08	
ふっ素 (mg/L)	0.23	<0.08	<0.08	
ほう素 (mg/L)	0.13	0.03	<0.02	
1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	
要監視項目	PFOS及びPFOA (mg/L)	0.00020	<0.000005	0.000006
一般項目	pH	7.3	7.0	7.1

(注) アルキル水銀に関しては、総水銀が検出された場合（定量下限0.0005mg/L）にのみ測定を行うこととしている。

ウ 水生生物による水質調査

河川に生息する水生生物を調べることで、化学分析によらず水質を調査する方法として、環境省・国土交通省が作成した「水生生物による水質簡易調査法」があります。また、平成 29 年 3 月には、環境省から水生生物の詳細をより詳細にし、生物ごとに 1~10 点の点数をつけて、その合計と平均により定量的に水質を比較できる手法として「日本版平均スコア法」が公表されました。これらの水生生物による水質調査では、化学分析による水質調査と比較し長い期間の水質を観察することができます。

本市では、市内河川 16 地点において水質簡易調査法を行うとともに、令和 2 年度から日本版平均スコア法による水質調査も併せて行っています。

●水生生物による水質簡易調査法による水質階級

水質階級	I	II	III	IV
水質の状態	とてもきれいな水	きれいな水	少し汚れた水	汚れた水

●日本版平均スコア法による水質階級

平均スコア	7.5 以上	6.0 以上 7.5 未満	5.0 以上 6.0 未満	5.0 未満
水質の状態	とても良好	良好	やや良好	良好とはいえない

●地点ごとの水質簡易調査法及び日本版平均スコア法による結果一覧

地点番号	地点名	BOD	出現科数	総スコア	平均スコア	平均スコア階級	水質階級
①	安威川（府 境）	<0.5	18	141	7.83	とても良好	I
②	安威川（桑ノ原橋）	1.14	16	121	7.56	とても良好	I
③	安威川（千歳橋）	0.82	13	95	7.31	良好	I
④	下音羽川（馬ヶ瀬橋）	<0.5	15	108	7.20	良好	I
⑤	勝尾寺川（上河原橋）	<0.5	12	78	6.50	良好	I
⑥	佐保川（免山橋）	0.64	13	95	7.31	良好	I
⑦	茨木川（幣久良橋）	0.54	12	82	6.83	良好	I
⑧	車作川（安元下流）	0.80	18	129	7.17	良好	I
⑨	銭原川（梅が元橋）	<0.5	17	125	7.35	良好	I
⑩	川合真川（あさぎり橋）	0.50	14	95	6.79	良好	I
⑪	佐保川・泉原川合流直前	0.53	14	104	7.43	良好	I
⑫	下音羽川（地藏橋）	<0.5	11	79	7.18	良好	I
⑬	上音羽川（平野橋）	<0.5	17	126	7.41	良好	I
⑭	大岩川・忍頂寺・安元下流	0.51	15	109	7.27	良好	I
⑮	清飯川・清飯	<0.5	13	97	7.46	良好	I
⑯	佐保川・泉原川合流直後	<0.5	14	99	7.07	良好	I
平均			14.50	105.2	7.23		

●日本版平均スコア法による各生物の出現回数

調査場所		生物別出現回数		年月日(時刻)		令和3年度			
分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	1	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	0
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10	0	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	0
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8	15		ミスズマン科	Gyrinidae	8	1
	チラカゲロウ科	Isomyiidae	8	2		ガムシ科	Hydrophilidae	4	0
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9	14		ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	2
	コカゲロウ科	Baetidae	6	14		ドROMシ科	Dryopidae	8	4
	トビロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9	5		ヒメドROMシ科	Elmidae	8	0
	マダラカゲロウ科	Ephemeroidea	8	6		ホタル科	Lampyridae	6	1
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7	0	ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	3
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8	7		アミカ科	Blephariceridae	10	0
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8	3		チョウバエ科	Psychodidae	1	0
	シロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	0		アユ科	Simuliidae	7	10
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	7		ユスリカ科 (ユスリカ族：腹脚あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	0		ユスリカ科 (ユスリカ族：腹脚なし)	Chironomidae	6	0
サナエトンボ科		Gomphidae	7	3		スカカ科	Ceratopogonidae	7	0
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3	0		アブ科	Tabanidae	6	0
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	4		ナガレアブ科	Athericidae	8	0
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	0	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7	8
	カワゲラ科	Perlidae	9	2	ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8	10
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	0	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3	0
カメムシ目	ナベアタムシ科	Aphelocheiridae	7	0		サカマキガイ科	Physidae	1	0
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9	0		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	0
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9	6		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	0
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9	2	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	1
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	3	ミズスズメ	ミズスズメ(エラミズ)	Oligochaeta	1	0
	イトトビケラ科	Polycentropodidae	9	1		ミズスズメ(その他)	Oligochaeta	4	10
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	11	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	4
	ナガレトビケラ科	Rhyacophiliidae	9	12	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	0
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	3		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	0
	ヤマトトビケラ科	Glossosomatidae	9	2		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	7
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	9	ワラジムシ目	ミズムシ科	Aseellidae	2	7
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	1	エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	5
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	2	スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	3	集計結果	出現科数	43		
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10	0		総スコア(TS)	/		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7	7		平均スコア(ASPT)			
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9	7					
	ケトトビケラ科	Sericostomatidae	9	6					
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8	1					
その他の生物の出現状況									

●各地点の結果及び過去5年間の調査結果

①安威川（府 境）		5月10日9:32~9:52			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.88	7.83
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科/ヒゲナガカワトビケラ科/ブユ科					

⑨銭原川（梅が元橋）		5月24日10:40~11:00			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.82	7.35
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科/ヒゲナガカワトビケラ科/カワニナ科					

②安威川（桑ノ原橋）		5月10日13:05~13:25			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.62	7.56
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒゲナガカワトビケラ科/ヒラタドROMシ科/ブユ科					

⑩川合裏川（あさぎり橋）		5月13日14:00~14:15			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	6.77	6.79
水質階級	III	II	II	I	I
多く見られた生物:カワトンボ科/カワニナ科/ミズムシ科					

③安威川（千歳橋）		5月10日14:50~15:10			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	6.38	7.31
水質階級	II	II	II	I	I
多く見られた生物:ヒゲナガカワトビケラ科/ブユ科					

⑪佐保川・泉原川合流直前		5月26日9:50~10:10			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	6.73	7.43
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒメフタオカゲロウ科/ヒラタカゲロウ科/カワリナガレトビケラ科					

④下音羽川（馬ヶ瀬橋）		5月10日10:15~10:35			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.67	7.20
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科/オナシカワゲラ科/ブユ科					

⑫下音羽川（地藏橋）		5月24日10:10~10:30			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.56	7.18
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科/カワニナ科					

⑤勝尾寺川（上河原橋）		5月13日13:25~13:40			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.00	6.50
水質階級	II	II	I	I	I
多く見られた生物:カワニナ科					

⑬上音羽川（平野橋）		5月24日11:15~11:35			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.43	7.41
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒメフタオカゲロウ科/ヒラタカゲロウ科					

⑥佐保川（免山橋）		5月26日9:20~9:40			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.92	7.31
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科					

⑭大岩川・忍頂寺・安元下流		5月10日13:43~14:03			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	6.94	7.27
水質階級	III	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科/ヒゲナガカワトビケラ科/アゴナガヨコエビ科					

⑦茨木川（幣久良橋）		5月26日11:05~11:25			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	6.83	6.83
水質階級	III	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒメフタオカゲロウ科/ヒゲナガカワトビケラ科					

⑮清阪川・清阪		5月24日9:35~9:55			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.00	7.46
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科					

⑧車作川（安元下流）		5月10日10:55~11:15			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	6.88	7.17
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科/サンカクアタマズムシ科/ミズムシ科					

⑯佐保川・泉原川合流直後		5月26日10:20~10:40			
年度	H29	H30	R1	R2	R3
平均スコア	—	—	—	7.64	7.07
水質階級	I	I	I	I	I
多く見られた生物:ヒラタカゲロウ科/シマトビケラ科					

●調査地点一覧



凡例

簡易調査法による評価

- …水質階級Ⅰ
- △…水質階級Ⅱ
- …水質階級Ⅲ
- ☆…水質階級Ⅳ

日本版平均スコア法による評価

- 水色…とても良好
- 緑…良好
- 橙…やや良好
- 赤…良好とはいえない

3 土壌汚染の対策

● 土壌の汚染に係る環境基準

環境基本法第16条第1項に基づき、「人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準」として、「土壌の汚染に係る環境基準」が定められています。(平成3(1991)年8月23日環境庁告示第46号 改正平成5環告19・平成6環告5・平成6環告25・平成7環告19・平成10環告21・平成13環告16・平成20環告46・平成22環告37・平成26環告44・平成28環告30・平成30環告77・平成31環告48・令和2環告35・令和2環告44)

項目	環境上の条件	測定方法
カドミウム	検液1Lにつき0.003mg以下であり、かつ、農用地においては、米1kgにつき0.4mg以下であること。	環境上の条件のうち、検液中濃度に係るものにあつては、日本産業規格K0102(以下「規格」という。)55.2、55.3又は55.4に定める方法、農用地に係るものにあつては、昭和46年6月農林省令第47号に定める方法
全シアン	検液中に検出されないこと。	規格38に定める方法(規格38.1.1及び38の備考11に定める方法を除く。)又は昭和46年12月環境庁告示第59号付表1に掲げる方法
有機燐	検液中に検出されないこと。	昭和49年9月環境庁告示第64号付表1に掲げる方法又は規格31.1に定める方法のうちガスクロマトグラフ法以外のもの(メチルジメトンにあつては、昭和49年9月環境庁告示第64号付表2に掲げる方法)
鉛	検液1Lにつき0.01mg以下であること。	規格54に定める方法
六価クロム	検液1Lにつき0.05mg以下であること。	規格65.2(規格65.2.7を除く。)に定める方法(ただし、規格65.2.6に定める方法により塩分の濃度の高い試料を測定する場合にあつては、日本産業規格K0170-7の7のa)又はb)に定める操作を行うものとする。)
砒素	検液1Lにつき0.01mg以下であり、かつ、農用地(田に限る。)においては、土壌1kgにつき15mg未満であること。	環境上の条件のうち、検液中濃度に係るものにあつては、規格61に定める方法、農用地に係るものにあつては、昭和50年4月総理府令第31号に定める方法
総水銀	検液1Lにつき0.0005mg以下であること。	昭和46年12月環境庁告示第59号付表2に掲げる方法
アルキル水銀	検液中に検出されないこと。	昭和46年12月環境庁告示第59号付表3及び昭和49年9月環境庁告示第64号付表3に掲げる方法
P C B	検液中に検出されないこと。	昭和46年12月環境庁告示第59号付表4に掲げる方法
銅	農用地(田に限る。)において、土壌1kgにつき125mg未満であること。	昭和47年10月総理府令第66号に定める方法
ジクロロメタン	検液1Lにつき0.02mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	検液1Lにつき0.002mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
クロロエチレン (別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	検液1Lにつき0.002mg以下であること。	平成9年3月環境庁告示第10号付表に掲げる方法
1, 2-ジクロロエタン	検液1Lにつき0.004mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1, 1-ジクロロエチレン	検液1Lにつき0.1mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1, 2-ジクロロエチレン	検液1Lにつき0.04mg以下であること。	シス体にあつては日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法、トランス体にあつては日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
1, 1, 1-トリクロロエタン	検液1Lにつき1mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1, 1, 2-トリクロロエタン	検液1Lにつき0.006mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	検液1Lにつき0.01mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	検液1Lにつき0.01mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1, 3-ジクロロプロペン	検液1Lにつき0.002mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	検液1Lにつき0.006mg以下であること。	昭和46年12月環境庁告示第59号付表5に掲げる方法
シマジン	検液1Lにつき0.003mg以下であること。	昭和46年12月環境庁告示第59号付表6の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	検液1Lにつき0.02mg以下であること。	昭和46年12月環境庁告示第59号付表6の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	検液1Lにつき0.01mg以下であること。	日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	検液1Lにつき0.01mg以下であること。	規格67.2、67.3又は67.4に定める方法
ふっ素	検液1Lにつき0.8mg以下であること。	規格34.1(規格34の備考1を除く。)若しくは34.4(妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含まれる試料を測定する場合にあつては、蒸留試薬溶液として、水約200mlに硫酸10ml、りん酸60ml及び塩化ナトリウム10gを溶かした溶液とグリセリン250mlを混合し、水を加えて1,000mlとしたものを用い、日本産業規格K0170-6の6図2注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。)に定める方法又は規格34.1.1c(注(2)第3文及び規格34の備考1を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合にあつては、これを省略することができる。)及び昭和46年12月環境庁告示第59号付表7に掲げる方法
ほう素	検液1Lにつき1mg以下であること。	規格47.1、47.3又は47.4に定める方法
1, 4-ジオキサン	検液1Lにつき0.05mg以下であること。	昭和46年12月環境庁告示第59号付表8に掲げる方法

備考

1. 環境上の条件のうち検液中濃度に係るものにあつては付表に定める方法により検液を作成し、これを用いて測定を行うものとする。
2. カドミウム、鉛、六価クロム、砒（ひ）素、総水銀、セレン、ふっ素及びほう素に係る環境上の条件のうち検液中濃度に係る値にあつては、汚染土壌が地下水から離れており、かつ、原状において当該地下水中のこれらの物質の濃度がそれぞれ地下水 1 L につき 0.003mg、0.01mg、0.05mg、0.01mg、0.0005mg、0.01mg、0.8mg 及び 1 mg を超えていない場合には、それぞれ検液 1 L につき 0.009mg、0.03mg、0.15mg、0.03mg、0.0015mg、0.03mg、2.4mg 及び 3 mg とする。
3. 「検液中に検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
4. 有機燐（りん）とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びE P Nをいう。
5. 1, 2-ジクロロエチレンの濃度は、日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2より測定されたシス体の濃度と日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1により測定されたトランス体の濃度の和とする。

4 騒音・振動の防止

● 騒音に係る基準等

騒音に係る環境基準は、環境基本法第16条第1項の規定に基づき「騒音に係る環境上の条件について生活環境を保全し、人の健康の保護に資する上で維持されることが望ましい基準」として、下記の表のとおり定められています（平成11（1999）年4月1日施行）。

① 道路に面しない地域

地域の 類型	基準値		該当地域
	昼間	夜間	
	(午前6時から 午後10時まで)	(午後10時から 翌日午前6時まで)	
A	55デシベル以下	45デシベル以下	第一・二種低層、第一・二種中高層住居専用地域
B	55デシベル以下	45デシベル以下	第一・二種住居地域、準住居地域及び指定のない地域
C	60デシベル以下	50デシベル以下	近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域

② 道路に面する地域

地域の区分	基準値	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60デシベル以下	55デシベル以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65デシベル以下	60デシベル以下

- (注) 1 A、B、C地域及び時間区分は、「道路に面しない地域」に同じ。
 2 この基準値は、航空機騒音、鉄道騒音及び建設作業騒音に適用しない。
 3 車線とは、1縦列の自動車安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

但し、幹線交通を担う道路に近接する空間については、上表にかかわらず、特例として次表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

基準値	
昼間	夜間
70デシベル以下	65デシベル以下

- (注) 「幹線交通を担う道路に近接する空間」とは、次の車線数の区分に応じ道路端からの距離によりその範囲を特定するものとする。
 1 2車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路 15メートル
 2 2車線を超える車線を有する幹線交通を担う道路 20メートル

● 「一般環境」の騒音測定結果

〈環境基準〉 A・B(昼)55、(夜)45[デシベル]
C(昼)60、(夜)50[デシベル]

地点名	類型	用途地域	昼間			夜間				
			測定値	支配音源			測定値	支配音源		
			LAeq	1	2	3	LAeq	1	2	3
山手台三丁目28番	B	3	49	②	①	⑤	43	①	⑤	
三島丘一丁目6番	C	5	46	⑤	②	①	34	①		
五日市二丁目7番	B	3	46	⑤	④	①	45	③	②	
東太田二丁目2番	C	5	39	⑤	①		34	①	④	
高田町18番	A	1	42	⑤	①	②	35	①	④	⑥
畑田町1番	C	5	52	①	②	⑤	41	①		
彩都あさぎ五丁目9番	A	1	38	⑤	①	④	35	①	②	④
藤の里一丁目5番	C	5	50	③	⑤	①	44	③	①	
豊川四丁目5番	A	2	48	⑤	①	③	39	④	①	
北春日丘四丁目3番	A	1	43	⑤			35	①		
上穂積二丁目3番	A	2	48	①	②	⑤	43	①	④	⑥
東奈良二丁目1番	A	2	47	⑤	④	①	40	⑥	①	⑤
島三丁目7番	C	4	54	①	⑤		53	①		
橋の内一丁目12番	A	2	47	⑤	②	⑥	35	⑥	①	
上郡二丁目8番	C	5	54	⑤	⑥	①	45	①		
横江一丁目12番	C	5	51	①	⑤	③	44	①	④	⑧
丑寅二丁目2番	B	3	47	⑤	③	②	43	⑤	⑥	①
天王二丁目5番	C	4	51	⑤	⑥	①	48	①	⑥	②

(支配的音源) ①自動車音②自動車以外の道路音③工場・事業場の音④家庭音⑤自然音⑥特殊音⑦その他の音⑧不特定音

(用途地域) 1:第一種・第二種低層, 2:第一種・第二種中高層, 3:第一種・第二種住居, 4:近隣商業, 商業, 5:準工業, 工業, 0:調整

■ 環境基準未達成

● 「一般環境」の用途地域別環境基準達成率及び平均騒音レベル

① 住居系地域

類型	用途地域	測定地点数	環境基準達成率 [%]		
			(平均騒音レベル) [デシベル]		
			昼間	夜間	日平均
A	第一種低層住居専用地域	3	100 (41)	100 (35)	100 (39)
	第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	4	100 (48)	100 (40)	100 (45)
B	第一種住居地域	3	100	100	100
	第二種住居地域		(47)	(44)	(46)
平均		10	100 (45)	100 (38)	100 (42)

② 商・工業系地域


類型	用途地域	測定地点数	環境基準達成率 [%]		
			(平均騒音レベル) [デシベル]		
			昼間	夜間	日平均
C	近隣商業地域	2	100 (53)	50 (51)	75 (52)
	準工業地域	6	100 (50)	100 (42)	100 (48)
平均		8	100 (51)	88 (43)	94 (48)

③ A, B, C類型全体

類型	用途地域	測定地点数	環境基準達成率 [%]		
			(平均騒音レベル) [デシベル]		
			昼間	夜間	日平均
全体平均		18	100 (46)	94 (40)	97 (44)

● 「道路に面する地域」の騒音測定結果（令和3年度）

道路名 (地点名)	車線数	区分	騒音レベル(dB)	
			基準値	LAeq
茨木亀岡線	2 (4)	昼間	70	71
(南安威1丁目3-33)		夜間	65	64
大阪高槻京都線(新)	4	昼間	70	71
(南目垣1丁目2-3)		夜間	65	67
鳥飼八丁富田線	2 (4)	昼間	70	63
鮎川1丁目8-17		夜間	65	60
余野茨木線	2	昼間	70	66
東福井2丁目4-20		夜間	65	61
一般国道171号	4	昼間	70	68
(西河原3丁目2)		夜間	65	65
茨木摂津線	2	昼間	70	63
(彩都やまぶき2丁目2)		夜間	65	58
大阪中央環状線(近畿自動車道)	4	昼間	70	72
(美沢町16)		夜間	65	70
大阪中央環状線(近畿自動車道)	4	昼間	70	73
(美沢町6)		夜間	65	70
新名神高速道路	4	昼間	70	51
(大字千提寺)		夜間	65	49

 環境基準未達成

● 「道路に面する地域」の環境基準達成状況（令和3年度）

路線名称	評価 区間 延長 (km)	評価結果（全体）				
		住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)
評価区間全体	53.6	4,464	3,958	127	17	362
		—	88.7%	2.8%	0.4%	8.1%
(内訳) 複数評価区間で重複計上があるため、上記の値とは一致しない。						
茨木亀岡線	12.0	327	312	0	15	0
		—	95.4%	0.0%	4.6%	0.0%
大阪高槻京都線（新）	4.2	27	27	0	0	0
		—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鳥飼八丁富田線	2.0	511	502	8	0	1
		—	98.2%	1.6%	0.0%	0.2%
余野茨木線	11.1	181	181	0	0	0
		—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
一般国道171号	5.7	1,125	1,016	23	0	86
		—	90.3%	2.0%	0.0%	7.6%
茨木摂津線	14.5	1,073	1,039	0	4	30
		—	96.8%	0.0%	0.4%	2.8%
大阪中央環状線 (近畿自動車道)	3.2	1,241	900	96	0	245
		—	72.5%	7.7%	0.0%	19.7%
新名神高速道路	0.9	1	1	0	0	0
		—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

5 ダイオキシン類の対策

● ダイオキシン類に係る環境基準

ダイオキシン類に係る環境基準は、ダイオキシン類対策特別措置法（平成11（1999）年法律第105号）第7条の規定に基づき、ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境上の条件について「人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準」として下記のとおり定められています。

なお、土壌汚染に係るダイオキシン類濃度については、環境基準とは別に土壌調査を実施する必要のある濃度レベルとして、調査指標値が250pg-TEQ/gとして定められています。

項目	環境基準値
大気	0.6pg-TEQ/m ³
水質	1pg-TEQ/L
底質	150pg-TEQ/g
土壌	1,000pg-TEQ/g

●大阪府による測定結果

大阪府では、大気の調査、市内河川3地点の水質及び底質の調査を行っています。各々の測定結果は下表のとおりでいずれの測定結果においても環境基準を下回っています。

① 大気

測定地点	測定値 (pg-TEQ/m ³)		
	夏	冬	年平均
茨木市役所局	0.019	0.011	0.015

②河川水質、河川底質

測定地点	河川水質測定値 (pg-TEQ/L)			河川底質測定値 (pg-TEQ/g)
	1回目	2回目	年平均値	
宮島橋(安威川)	0.079	0.063	0.071	0.47
安威川合流直前(茨木川)	0.075	0.065	0.070	0.15
中河原橋(勝尾寺川)	0.10	0.065	0.083	0.26

● 市内事業場による測定結果

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出事業所は、年1回以上、排出ガス等のダイオキシン類による汚染の状況について測定し、測定結果を市長に報告することが義務付けられています。

令和元年度における市内の届出事業所は2事業所あり、その測定結果については、以下のとおりですが、いずれの測定値も基準値以下となっています。

① 大気

事業所名	施設No.	排出ガス		燃え殻		ばいじん	
		測定値	基準値	測定値	基準値	測定値	基準値
茨木市環境衛生センター	1	0.00071	1	0.0000039	3	0.92	-
	2	0	1			1.3	
	3	0.00033	1			0.70	
	4	0.62	5			2.1	
	5	0.47	5			1.7	
安威川流域下水道 中央水みらいセンター	6	0.0000094	0.1	0	3	0	3
	7	0.0000013	5	0	3	0.000026	3

② 水質

事業所名	排出水 (単位:pg-TEQ/L)	
	測定値	基準値
安威川流域下水道 中央水みらいセンター	0.00038	10

2 新たな環境課題への対応

(1) 化学物質による環境リスクへの対応

● PRTR法等関連事務

本市では、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に加え、「大阪府生活環境の保全等に関する条例」に基づく、大阪府化学物質管理制度を運用し、化学物質の環境中への排出量等の削減に取り組んでいます。

化学物質を取扱う事業所に立入調査を行い、化学物質の取扱い状況を確認するとともに、事業者における化学物質削減に向けた自主的な取り組みが促進されるよう指導を行っています。

● 大規模災害に備えた環境リスクの低減対策の取り組み促進

南海トラフ巨大地震などの大規模災害発生時に化学物質の漏えい等を防止するため、化学物質を取り扱う事業所に未然防止策等を盛り込んだ化学物質管理計画書の届出を指導しています。

● 主な化学物質一覧

物質名	用途
ノルマルヘキサン	潤滑剤、溶剤
トルエン	塗料、溶剤、合成繊維、染料、火薬、香料、有機顔料、ガソリン成分
ほう素化合物	糊、消毒剤
塩化メチレン	洗浄剤、溶剤、エアゾール噴射剤、インキ成分、ペイント剥離剤
ふっ化水素及びその水溶性塩	水処理剤

(2) 遺伝子組換え実験等による環境リスクへの対応

● ライフサイエンス環境保全対策事務事業

遺伝子組換え実験については、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」により、遺伝子組換え生物等が環境中に漏出することを防止するよう義務づけられています。また、本市では、遺伝子組換え生物等による環境への影響や災害事故等を未然に防止するために「茨木市生活環境の保全に関する条例」に基づき市内に遺伝子組換え施設を設置・変更しようとする事業者協議書の提出を求めています。協議を行った事業者と「ライフサイエンス系施設の環境保全対策に係る協定」を締結し、実験の実施状況や施設の管理状況等について、報告するよう指導しています。

協議書の提出件数	9件
報告書の提出件数	29件

3 快適環境の保全

(1) 環境美化活動の推進

● 不法屋外広告物対策

① 不法広告物撤去状況

(単位：件)

はり紙	はり札	立看板	のぼり旗	その他	合計
11	190	20	3	0	224

② 不法広告物掲出業種割合

(単位：%)

不動産	サラ金	飲食店	風俗	その他	合計
90.17	0.0	0.0	0.0	9.83	100

(2) 不法投棄の防止

● 不法投棄防止・対応事業

① 不法投棄指導状況

発見件数	投棄者判明件数	投棄量 (kg)	処理量 (kg)
486	0	157,740	157,740

② 空き地の指導状況

指導状況 所有者区分	指導件数	指導面積
市内在住所有者	13	5,183㎡
市外在住所有者	11	
合計	24	

【バランスのとれた自然環境をつくる】

1 都市とみどりの共存

(1) 身近なみどりの保全と活用

● 都市公園等及び児童遊園の現況

上段 単位：箇所

下段 単位：ha

種 類		計 画 決 定	同左開設 ①	計画決定以外 (開設済) ②	開設公園の計 ①+②	
基 幹 公 園	住区基 幹公園	街区公園	61	61	40	101
			12.16	12.43	6.09	18.52
		近隣公園	14	11	4	15
		25.40	21.32	23.11	44.43	
	地区公園	4	4	—	4	
		18.70	15.70	—	15.70	
	都市基 幹公園	総合公園	3	2	—	2
	32.50	11.81	—	11.81		
小 計		82	78	44	122	
	88.76	61.26	29.20	90.46		
都 市 緑 地		1	1	102	103	
	20.00	13.12	59.43	72.55		
計		83	79	146	225	
	108.76	74.38	88.63	163.01		
児 童 遊 園		—	—	299	299	
	—	—	13.21	13.21		
合 計		83	79	445	524	
	108.76	74.38	101.84	176.22		

令和4年3月31日現在

● 都市公園等及び児童遊園の設置推移

年度	人 口 (人)	都 市 公 園 等				児 童 遊 園		合 計			
		箇所数	面積 (ha)	1人当り 面積(m ²)	指 数	箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)	1人当り 面積(m ²)	指 数
26	278,741	209	130.42	4.68	46.8	299	13.89	508	144.31	5.18	51.8
27	279,573	213	134.79	4.82	48.2	298	13.89	511	148.68	5.32	53.2
28	280,518	214	138.10	4.92	49.2	298	13.89	512	151.99	5.42	54.2
29	281,478	214	138.10	4.91	49.1	300	13.93	514	152.03	5.40	54.0
30	281,541	221	139.86	4.97	49.7	299	13.94	520	153.80	5.46	54.6
元	282,705	221	139.74	4.94	49.4	298	13.11	519	152.85	5.41	54.1
2	283,078	224	149.77	5.29	52.9	299	13.20	523	162.97	5.76	57.6
3	283,678	225	163.01	5.75	57.5	299	13.21	524	176.22	6.21	62.1

- (注) 1 指数は都市公園法施行令に定める都市公園の市民1人当たりの公園面積の標準10m²を100とする。
2 人口は毎年3月末とする。

2 自然資源の利用の推進

(1) 里山センターの利用

●里山センターにおけるイベント実施一覧

月日	行事名	参加者数	内容
3月20日～11月30日	バーベキューコーナー	1,534人	バーベキュー
10月23日他	機械安全講習会	18人	スライド丸ノコ、糸ノコ盤他 計3回実施
9月19日・20日	チェーンソー安全講習会	23人	座学、作業実習
10月30日	秋のイベント	21人	自然工作、さつまいも掘り、火起こし体験
12月4日 12月11日	冬のイベント	12人 11人	リース作り しめ縄作り
2月6日他	炭焼き体験講座	42人	座学、炭材伐木、炭焼き、クラフト、茶道入門 計4日実施

3 生物多様性の保全

(1) 茨木市に生息する特定外来生物と害獣

●主な特定外来生物と害獣の捕獲件数

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
イノシシ	45	40	39	55	73	57	42	35	11
シカ	14	24	37	40	50	21	39	27	45
アライグマ	61	70	19	52	59	51	27	78	75
ヌートリア	0	0	0	2	0	0	0	2	31

※アライグマ、ヌートリアは特定外来生物

(2) 茨木市に生息する希少な生きもの

●希少種一覧と選定基準（平成28年度）

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/sangyo/kankyos/menu/biodiversity/iki/mono/38142.html>

【ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす】

1 省エネルギーの実践及び普及啓発

(1) 省エネライフスタイルの推進

● エコオフィスプランいばらき推進事業

	25年度 (基準年度)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	対基準 年度比	対前年 度比
温室効果ガス排出量 (t)	85,464	81,694	81,292	81,292	83,932	96,286	89,254	93,115	95,824	12.1%	2.9%
廃棄物処理	59,257	59,421	58,128	59,089	60,520	74,903	70,198	75,172	75,144	26.8%	0.0%
エネルギー(コークス を除く)	24,852	20,978	21,876	21,849	22,082	19,857	17,641	16,467	19,161	-22.9%	16.4%
4種ガス	1,355	1,295	1,288	1,303	1,330	1,526	1,415	1,476	1,519	12.1%	2.9%

① 省エネルギー

施設の使用に伴うエネルギー	電気 (kWh)	35,235,503	34,532,868	33,605,045	33,701,945	35,158,290	35,138,646	35,709,234	36,729,213	37,454,679	6.3%	2.0%
	原油換算 (kl)	9,063	8,883	8,644	8,669	9,044	9,039	9,185	9,448	9,634	9,634	
<参考> CO2換算 (t)	19,484	15,743	16,951	16,944	17,064	15,285	13,498	12,141	14,638	14,638	-24.9%	20.6%
都市ガス (m ³)	1,512,429	1,469,180	1,241,517	1,258,575	1,296,238	1,105,178	1,006,100	1,051,820	1,019,175	1,019,175		
原油換算 (kl)	1,756	1,706	1,441	1,461	1,505	1,283	1,168	1,221	1,183	1,183	-32.6%	-3.1%
CO2換算 (t)	3,388	3,291	2,781	2,819	2,904	2,476	2,254	2,356	2,283	2,283		
プロパンガス (kg)	103,215	91,382	88,424	91,841	100,311	94,707	93,098	67,513	93,181	93,181		
原油換算 (kl)	135	120	116	120	131	124	122	88	122	122	-9.7%	38.0%
CO2換算 (t)	310	274	265	276	301	284	279	203	280	280		
灯油 (ℓ)	398,039	416,873	488,596	471,786	467,575	452,948	393,839	468,635	517,544	517,544		
原油換算 (kl)	377	395	463	447	443	429	373	444	490	490	30.0%	10.4%
CO2換算 (t)	991	1,038	1,217	1,175	1,164	1,128	981	1,167	1,289	1,289		
A重油 (ℓ)	24,077	21,745	25,011	13,748	15,846	18,468	10,528	10,672	16,875	16,875		
原油換算 (kl)	25	22	26	14	16	19	11	11	17	17	-29.9%	58.1%
CO2換算 (t)	65	59	68	37	43	50	29	29	46	46		
コークス (t)	5,016	4,955	5,018	4,853	5,059	5,327	4,599	4,472	4,392	4,392		
原油換算 (kl)	3,805	3,759	3,806	3,681	3,838	4,041	3,488	3,392	3,331	3,331	-12.5%	-1.8%
CO2換算 (t)	15,897	15,704	15,902	15,379	16,034	16,883	14,574	14,172	13,917	13,917		
合計(原油換算)	15,161	14,884	14,496	14,393	14,977	14,935	14,347	14,604	14,778	14,778	-2.5%	1.2%

公用車燃料	ガソリン (ℓ)	125,801	120,412	124,712	122,043	127,640	128,677	123,319	110,502	131,257		
	原油換算 (ℓ)	112,300	107,490	112,243	109,590	113,942	114,867	110,085	98,643	117,170	4.3%	6.4%
	CO2換算 (t)	292	279	292	285	296	299	286	256	305		
	軽油 (ℓ)	125,154	113,791	117,031	121,629	120,118	130,229	122,002	122,349	124,505		
	原油換算 (ℓ)	121,732	110,680	113,831	118,304	116,834	126,669	118,667	119,004	121,101	-0.5%	2.1%
	CO2換算 (t)	323	294	302	314	310	336	315	316	321		
合計(原油換算)	234,032	218,169	226,074	227,894	230,776	241,536	228,752	217,647	238,271	238,271	1.8%	4.2%

② 省資源

用紙類使用量 (枚)	53,258,230	59,144,704	58,752,718	60,694,624	60,431,391	63,499,689	64,043,774	63,173,994	60,736,377		
コピー用紙	18,918,059	22,745,827	28,654,138	34,257,280	38,366,275	44,541,704	46,968,865	48,409,133	47,840,828	14.0%	-3.9%
印刷用紙	34,340,171	36,398,877	30,098,580	26,437,344	22,065,116	18,957,985	17,074,909	14,764,861	12,895,549		

水道使用量 (m ³)	652,687	618,149	605,858	589,717	602,612	646,044	595,965	494,607	510,459	-21.8%	3.2%
-------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	------

③ ごみの減量化

普通ごみ排出量 (t)	386.8	383.3	400.3	387.2	397.1	411.1	384.0	339.8	341.2	-11.8%	0.4%
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	------

2 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進

(1) 再生可能エネルギー等の推進

● 茨木市の環境配慮施設

施設名	種類	竣工年度
環境衛生センター	ごみ発電システム	昭和55年度
消防本部白川分署	太陽熱利用	昭和56年度
五十鈴市民プール	太陽熱利用	昭和58年度
西河原市民プール	氷蓄熱システム コージェネレーション	平成5年度
障害福祉センター ハートフル	氷蓄熱システム	平成8年度
市役所南館	雨水利用:140m ³ 氷蓄熱システム	平成9年度
茨木市沢池多世代交流センター・茨木市立沢池老人デイサービスセンター	太陽熱利用 コージェネレーション	平成9年度
消防本部下穂積分署	氷蓄熱システム	平成10年度
男女共生センターローズWAM	氷蓄熱システム	平成11年度
水尾コミュニティセンター	雨水利用:1m ³	平成11年度
郡コミュニティセンター	雨水利用:1m ³	平成12年度
西河原市民コミュニティセンター	雨水利用:1m ³	平成12年度
全保育所	氷蓄熱システム	平成14年度
福祉文化会館	氷蓄熱システム	平成14年度
畑田コミュニティセンター	太陽光発電 太陽電池出力:4.0kW 雨水利用:1m ³	平成14年度
東市民体育館 東コミュニティセンター	太陽光発電 太陽電池出力:20kW 氷蓄熱システム 雨水利用:140m ³	平成14年度
安威公民館	太陽光発電 太陽電池出力:5kW 氷蓄熱システム 雨水利用:2m ³	平成15年度
茨木市南茨木多世代交流センター・茨木市立南茨木老人デイサービスセンター	雨水利用:25m ³ コージェネレーション 太陽光発電 太陽電池出力:12kW	平成15年度
彩都西小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成15年度

施設名	種類	竣工年度
生涯学習センター	太陽光発電 太陽電池出力:20kW 雨水利用:120m ³ 氷蓄熱システム	平成16年度
豊川コミュニティセンター	太陽光発電 太陽電池出力:5kW 雨水利用:1m ³	平成17年度
彩都西中学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW 雨水利用:49.5m ³	平成19年度
合同庁舎	氷蓄熱システム	平成20年度
消防本部下井分署	太陽光発電 太陽電池出力:5kW	平成20年度
南市民体育館	太陽光発電 太陽電池出力:20kW 雨水利用:53m ³	平成21年度
東奈良小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成22年度
西小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成22年度
西河原小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成22年度
彩都西コミュニティセンター	太陽光発電 太陽電池出力:5.2kW	平成23年度
消防署西河原分署	太陽熱利用 ソーラーウインドライト 太陽電池:84W×2 風力発電:64W×2	平成23年度
彩都西公園管理棟	太陽光発電 太陽電池出力:10.3kW	平成24年度
環境衛生センター 一般廃棄物最終処分場	太陽光発電 太陽電池出力:582.4kW	平成26年度
東雲中学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成26年度
北中学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成26年度
天王小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成26年度
葦原小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成26年度
三島小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成27年度
大池小学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成27年度
養精中学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成27年度
豊川中学校	太陽光発電 太陽電池出力:10kW	平成27年度
十日市浄水場	太陽光発電 太陽電池出力:58.24kW	平成28年度
あさぎ配水場	太陽光発電 太陽電池出力:58.24kW	平成28年度
やまぶき高区配水池	太陽光発電 太陽電池出力:32.76kW	平成28年度
西穂積配水場	太陽光発電 太陽電池出力:21.84kW	平成28年度

【きちんと分別で資源の循環をすすめる】

1 減量化の推進

(1) 家庭系ごみの減量化推進

● 生ごみ処理容器等設置補助件数

(単位：基)

項目／年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
電気式	32	46	81	90	249
電気式以外	16	7	16	30	69
計	48	53	97	120	318

2 再資源化の推進

(1) 家庭系ごみの再資源化の推進

● 再生資源集団回収報奨金支給団体数

(単位：団体)

こども会	自治会	管理組合	婦人会	老人会	その他	合計
135	169	96	6	10	11	427

3 適正処理の推進

(1) 効率的なごみ処理の推進

● 市内のごみ・資源物の発生量

(単位：kg・%)

		区	分	令和2年度	令和3年度	増減	増減率	
家庭系	資源物以外	普通ごみ		41,508,970	41,103,940	△405,030	△1.0	
		スプレー缶等(スポット収集分) ※1		3,430	3,000	△430	△12.5	
		粗大ごみ	小型	2,546,520	2,360,840	△185,680	△7.3	
			大型	2,182,020	2,074,450	△107,570	△4.9	
		計		4,728,540	4,435,290	△293,250	△6.2	
	計		46,240,940	45,542,230	△698,710	△1.5		
	資源物	缶	市		390,970	383,610	△7,360	△1.9
			集団回収		152,876	150,762	△2,114	△1.4
			計		543,846	534,372	△9,474	△1.7
		びん			1,384,020	1,322,170	△61,850	△4.5
		ペットボトル			733,110	745,240	12,130	1.7
		古紙	市		1,274,250	1,404,110	129,860	10.2
				新聞	3,413,588	3,337,333	△76,255	△2.2
			集団回収	雑誌	1,489,654	1,359,150	△130,504	△8.8
				段ボール	1,184,739	1,239,740	55,001	4.6
				牛乳パック	26,306	25,150	△1,156	△4.4
		計		6,114,287	5,961,373	△152,914	△2.5	
		計			7,388,537	7,365,483	△23,054	△0.3
		古布	市		307,260	286,230	△21,030	△6.8
			集団回収		408,349	487,302	78,953	19.3
計				715,609	773,532	57,923	8.1	
小型家電・水銀使用製品	市		24,290	20,260	△4,030	△16.6		
	宅配回収 ※2		21,541	16,252	△5,289	△24.6		
	計		45,831	36,512	△9,319	△20.3		
集団回収のその他分 ※3			31,691	24,807	△6,884	△21.7		
計			10,842,644	10,802,116	△40,528	△0.4		
計			57,083,584	56,344,346	△739,238	△1.3		
事業系	普通ごみ	許可業者搬入分		30,126,460	30,598,540	472,080	1.6	
		直接搬入分		9,666,650	10,149,740	483,090	5.0	
	計			39,793,110	40,748,280	955,170	2.4	
	粗大ごみ			0	0	0		
区分なし	北大阪流通センター分		4,049,490	4,319,750	270,260	6.7		
	計		43,842,600	45,068,030	1,225,430	2.8		
合計			100,926,184	101,412,376	486,192	0.5		

※1 スプレー缶等(スポット収集分):使いきれずに中身の残っているスプレー缶等を拠点で収集(令和元(2019)年7月から実施)

※2 宅配回収: 宅配便を利用した小型家電回収に関するリサイクル事業者(リネットジャパンリサイクル(株))との協定により回収された小型家電、パソコン

※3 集団回収のその他分: ペットボトル、金属屑等

● その他の資源物の発生量

(単位 : kg・%)

区分		令和2年度	令和3年度	増減	増減率
金属屑	※1	408,080	456,360	48,280	11.8
木くず	※2	400,930	401,550	620	0.2
計		809,010	857,910	48,900	6.0

※1 金属屑：主に廃棄されたスプリング入りマットレスを環境衛生センター内で解体したものの。令和2(2020)年度は環境衛生センターの基幹的設備改良工事により発生した金属屑を含みます。

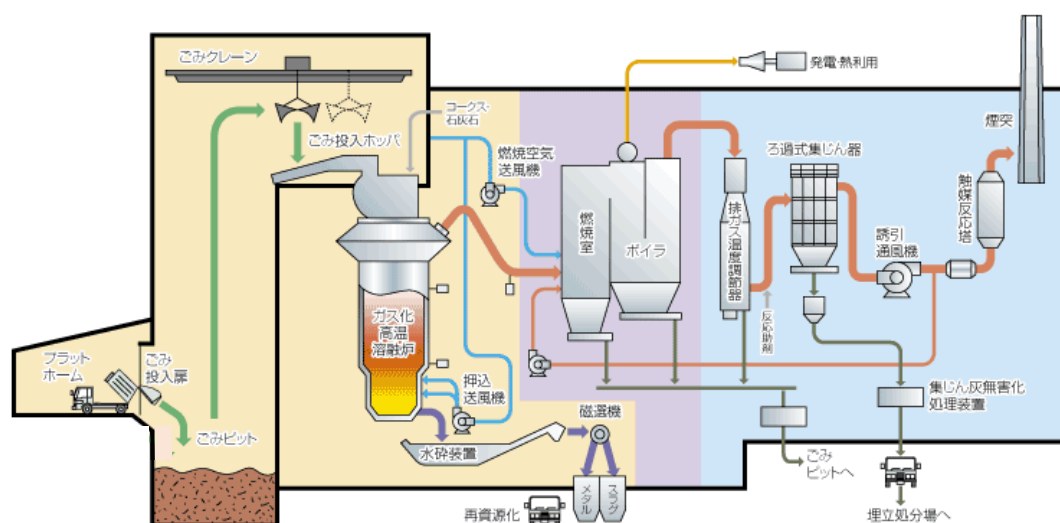
※2 木くず：市内の公園で発生した剪定枝等を環境衛生センターでチップ化したもの。

● ごみの処理について

① ごみ処理施設

名称	茨木市環境衛生センターごみ処理施設		
所在地	茨木市東野々宮町14番1号		
TEL	(072) 634-1627		
処理施設	① 熔融炉		
	処理能力	150t/日×2基	150t/日×1基
	処理方法	高温熔融処理方式	高温熔融処理方式
	公害防止機器	ろ過式集じん器 触媒反応塔	
	完成年月	平成8年3月	平成11年3月
	② 粗大ごみ破碎設備		
	処理能力	75t/5H	
	形式	回転破碎機横型ハンマー式	
	③ 特殊焼却設備 (犬猫死体焼却炉)		
	能力	40kg/h×1基	30kg/h×1基
形式	回分式焼却炉		

② ごみ処理フロー



③ 環境衛生センターで処分したごみの量

(単位：t・%)

区 分	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率
処理総数	98,543	99,998	1,455	1.5
うち所内ごみ ※1	1,725	2,730	1,005	58.3
うち他市からの搬入分 ※2	1,813	1,639	△174	△9.6

※1 所内ごみ：環境衛生センターのごみ処理施設において点検、清掃時に発生したダスト類。

※2 他市からの搬入分：本市にごみ処理の依頼があり、搬入されたごみ。

令和元(2019)年度及び令和2(2020)年度は、摂津市の不燃ごみ。

● し尿・浄化槽汚泥の収集について

① し尿・浄化槽汚泥の発生量

(単位：kg・%)

区 分	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率
し 尿	2,775,170	2,812,630	37,460	1.3
浄化槽汚泥	1,457,360	1,254,130	△203,230	△13.9
他市からの搬入分 ※	1,726,390	1,615,810	△110,580	△6.4
合 計	5,958,920	5,682,570	△276,350	△4.6

※他市からの搬入分：摂津市から本市に浄化槽汚泥処理の依頼があり、搬入された浄化槽汚泥。

● し尿・浄化槽汚泥の処理について

① し尿処理施設（前処理施設）

名称	茨木市環境衛生センターし尿処理施設（前処理施設）	
所在地	茨木市東野々宮町14番1号	
TEL	(072) 634-1627	
処理施設	処理能力	43kℓ/日（生し尿30kℓ 浄化槽汚泥13kℓ）
	処理方法	前処理後希釈放流
	処理水質	SS 400mg/ℓ以下

② 施設の概要

前処理後希釈し、公共下水道へ放流している。

【環境意識・環境教育・環境行動】の実施状況

(1) 環境教育・啓発事業

● 茨木市環境教育ボランティア登録制度による環境学習実施状況
(市主催事業での活動)

月 日	支援先等	参加者数	活動人数			担当部会	ボランティア	サポーター	内容
			計	ボラ	サポ				
4月24日	身近な環境と向き合う連続講座	9 人	1 人	1		地球環境	森下恭子	-	ワクワク！無農薬野菜づくり(オンラインで実施)
5月29日	身近な環境と向き合う連続講座	11 人	1 人	1	0	地球環境	森下新太	-	身近な小さな生き物「乳酸菌」オンラインで実施
6月19日	身近な環境と向き合う連続講座	13 人	4 人	2	2	生活環境	山下宗一 常藤和子	笹原初美 武本陸代	生活環境から見たSDGs オンラインで実施
7月23日	自然に親しむ探検講座	13 人	4 人	3	1	自然観察	岡本克己 大西清美 太田仁	川畑浩一朗	夏休み子ども工作教室～身近な自然工作と科学工作～
7月26日	身近な環境と向き合う連続講座	7 人	1 人	1	0	生活環境	大岩賢悟	-	安威川ダムカレーを作ろう！食品ロス削減編
8月4日～8月31日	いばらきの生きもの博(オンライン開催)	87 人	1 人	1	0	自然観察	江菅洋一	-	安威川のおはなし
8月6日～8月31日	いばらきの生きもの博(オンライン開催)	48 人	1 人	1	0	自然保護	丸井正史	-	ヒマラヤスギの不思議
8月17日～8月31日	いばらきの生きもの博(オンライン開催)	50 人	2 人	2	0	自然観察	太田仁	鈴木敏文	身近なセミを観察してみよう
8月23日～8月31日	いばらきの生きもの博(オンライン開催)	98 人	1 人	1	0	自然観察	-	鈴木敏文	水の中に住むいろいろな生きもの
10月16日	身近な環境と向き合う連続講座	9 人	4 人	2	2	生活環境	山下宗一 上村智子	武本陸代 笹原初美	カーボンニュートラルについて考える オンラインでの実施
11月20日～30日	いばらき環境フェア2021(オンライン開催)					各部会	-	-	環境教育ボランティアの活動について紹介しました
2月21日	自然に親しむ探検講座	3 人	2 人	2	0	自然観察	宇佐文哲 太田仁	-	野鳥探鳥をしよう！
合計		348人参加							22人(ボランティア17人・サポーター5人)派遣

(学校等から依頼を受けて活動したもの)

月 日	支援先等	参加者数	活動人数			担当部会	ボランティア	サポーター	内容
			計	ボラ	サポ				
4月9日	民間学童保育 第一けいあいの舎	54 人	2 人	1	1	生活環境	山下宗一	武本陸代	「SDG s ってな～に」
6月22日	忍頂寺小学校 4年生	4 人	5 人	3	2	自然観察	太田仁 池上千代枝 浜嶋尚義	鈴木敏文 吉川文子	ビオトープ探検事前学習 (オンラインで実施)
6月24日	忍頂寺小学校 4年生	4 人	5 人	3	2	自然観察	太田仁 池上千代枝 浜嶋尚義	鈴木敏文 吉川文子	ビオトープ探検
7月2日	春日丘小学校 1年生	103 人	5 人	4	1	自然観察	若尾隆一 竹本外茂次 梅澤智恵子 多田裕子	吉井愛子	校庭のおもしろわくわく探検
7月5日	豊川小学校 4年生	24 人	1 人	1	0	生活環境	山下宗一	-	私たちが目指す社会 ～SDG s ってな～に～
7月9日	民間学童保育 第一けいあいの舎	55 人	3 人	1	2	地球環境	森下恭子	山下宗一 高倉喜八郎	大豆作り
7月12日	民間学童保育 第二けいあいの舎	50 人	1 人	1	0	自然観察	若尾隆一	-	小動物の不思議な世界
7月13日	安威小学校 4年生	27 人	1 人	1	0	生活環境	山下宗一	-	環境かるた
10月1日	民間学童保育 第一けいあいの舎	63 人	4 人	1	3	地球環境	森下恭子	山下宗一 上村智子 高倉喜八郎	枝豆の収穫
10月9日	社会教育振興課 子どもセミナー	40 人	2 人	2	0	自然観察	宇佐文哲 岡本克己	-	自然工作
10月19日	春日丘小学校 3年生	87 人	2 人	2	0	自然観察	若尾隆一 梅澤智恵子	-	小動物の不思議な世界 葉っぱで面白遊び
10月20日	清溪小学校 4年生	3 人	1 人	1	0	生活環境	山下宗一	-	地球温暖化について考える
10月26日	春日丘小学校 1年生	87 人	1 人	1	0	自然観察	若尾隆一	-	簡単などんぐり工作
10月29日	彩都西小学校 4年生	136 人	1 人	1	0	生活環境	山下宗一	-	環境かるた
11月12日	民間学童保育 第一けいあいの舎	65 人	4 人	1	3	地球環境	森下恭子	高倉喜八郎 上村智子 山下宗一	大豆作り
11月15日	忍頂寺小学校 4年生	4 人	5 人	3	2	自然観察	池上千代枝 太田仁 浜嶋尚義	鈴木敏文 吉川文子	
11月17日	天王小学校 1年生	147 人	8 人	2	6	自然観察	岡本克己 篠田富子	広江典子 川畑浩一朗 吉川文子 竹村国子 吉井愛子 澤村泰子	自然工作
11月17日	山手台小学校 1年生	102 人	6 人	6	0	自然観察	池上千代枝 梅澤智恵子 大西清美 高原富佐子 多田裕子 若尾隆一	-	校庭のおもしろわくわく探検
11月18日	中条小学校 1年生	147 人	8 人	7	1	自然観察	岡本克己 宇佐文哲 大西清美 高原富佐子 多田裕子 中井二郎 篠田富子	広江典子	自然工作
11月18日	西河原小学校 1年生	20 人	1 人	1	0	自然観察	若尾隆一	-	野菜クイズ
11月25日	忍頂寺小学校 1, 2年生	6 人	2 人	2	0	自然観察	若尾隆一 竹本外茂次	-	野菜クイズ

月 日	支援先等	参加者数	活動人数			担当部会	ボランティア	サポーター	内容
			計	ボラ	サポ				
11月26日	郡小学校 4年生	60人	1人	1	0	自然観察	若尾隆一	-	野菜クイズ
11月29日	茨木小学校 1年生	124人	5人	4	1	自然観察	若尾隆一 宇佐文哲 梅澤智恵子 大西清美	竹村国子	校庭のおもしろわくわく探検
11月30日	沢池小学校 1年生	105人	1人	1	0	自然観察	若尾隆一	-	自然工作
12月1日	山手台小学校 1年生	102人	1人	1	0	自然観察	若尾隆一	-	簡単などんぐり工作・小動物のふしぎな世界
12月10日	民間学童保育 第一けいあいの舎	67人	2人	1	1	地球環境	森下恭子	山下宗一	大豆作り
12月11日	豊川中学校PTA	20人	1人	1	0	生活環境	入交享子	-	エコ・クッキング
12月13日	民間学童保育 第二けいあいの舎	50人	1人	1	0	生活環境	上村智子	-	絵本の読み聞かせから地球温暖化を考える
1月14日	民間学童保育 第一けいあいの舎	52人	2人	1	1	生活環境	上村智子	山下宗一	ごみの話
2月5日	社会教育振興課 子どもセミナー	24人	2人	1	1	自然観察	岡本克己 宇佐文哲	-	自然工作
2月11日	民間学童保育 第一けいあいの舎	35人	1人	1	0	生活環境	山下宗一	-	自然素材を使った工作
3月11日	民間学童保育 第一けいあいの舎	45人	2人	1	1	地球環境	山下宗一	武本睦代	自然素材を使ったでんでん太鼓
合計	1912人参加					87人（ボランティア59人・サポーター28人）派遣			

令和4(2022)年度版

いばらきの環境（資料編）
(令和3(2021)年度 年次報告書)

令和5(2023)年3月発行

発行 茨木市産業環境部環境政策課
茨木市駅前三丁目8番13号
電話(072)620-1644